

令和2年度

尾張旭市の教育



市制50周年お祝い献立

R2.12.1



R2 年度城山小学校児童作品

尾張旭市教育委員会

目 次

尾張旭市の概要

尾張旭市の人口の推移……………	1
-----------------	---

教育委員会

歴代教育長・教育委員……………	2
教育委員会の組織……………	4
教育委員会の分掌事務……………	5
一般会計と教育費決算額の推移……………	7
令和元年度決算額の状況……………	8
令和2年度当初予算の状況……………	9
尾張旭市教育委員会のあゆみ……………	10
教育委員会の施策……………	15

学校教育

学校支援……………	18
特別支援教育……………	19
就学奨励……………	20
学校保健……………	21
いじめ・不登校対策……………	22
その他の取り組み……………	24
学校施設の大型工事……………	25
児童生徒数・学級数等の状況……………	26
中学校卒業後の進路……………	26
児童生徒数の推移……………	27
特別支援学級の推移……………	28
高等学校進学率の推移……………	28
児童生徒の発育状況……………	29
義務教育施設の状況……………	30
小中学校の通学区域……………	32
尾張旭市立小学校・中学校……………	34

学校給食

学校給食の目標……………	36
給食実施の状況……………	36
給食の内容……………	37
主な食育事業……………	38

社会教育

生涯学習の推進……………	39
青少年教育……………	39
成人教育……………	40
社会教育団体の育成……………	40
文化振興……………	41
文化財保護……………	42
社会教育施設等……………	45
文化会館……………	46

公民館……………	49
各種講座……………	50
公民館等の利用状況……………	51
自主活動団体の育成・援助……………	52
図書館……………	54

社会体育

市民スポーツの普及・振興……………	57
指導者・少年スポーツの育成……………	58
スポーツ団体の育成……………	58
体育施設の整備充実……………	60

資料

各種委員会委員……………	64
学校医・学校薬剤師……………	69
教育関係施設一覧……………	71

尾張旭市の概要

尾張旭市の人口の推移

(各年3月末現在)

年次	人口	世帯数	人口密度
昭和 45 年	33,316	8,299	1,580
50	42,172	11,283	2,000
55	52,458	15,364	2,487
60	56,718	17,258	2,701
61	58,033	17,779	2,763
62	59,649	18,405	2,840
63	61,554	19,219	2,931
平成 元 年	63,251	20,002	3,012
2	64,741	20,658	3,083
3	65,886	21,280	3,137
4	66,913	21,841	3,186
5	68,208	22,530	3,248
6	68,985	23,114	3,285
7	69,719	23,638	3,320
8	70,848	24,392	3,373
9	72,279	25,234	3,442
10	73,673	26,086	3,505
11	74,620	26,709	3,553
12	75,489	27,262	3,591
13	76,386	27,929	3,634
14	77,458	28,674	3,685
15	77,888	29,089	3,705
16	78,654	29,646	3,742
17	79,220	30,135	3,769
18	79,546	30,534	3,784
19	80,041	31,035	3,808
20	80,648	31,660	3,835
21	81,505	32,233	3,876
22	81,619	32,465	3,881
23	81,507	32,527	3,876
24	81,953	33,000	3,897
25	81,792	33,065	3,889
26	82,192	33,499	3,908
27	82,361	33,843	3,916
28	82,757	34,272	3,935
29	82,997	34,685	3,947
30	83,372	34,836	3,964
31	83,592	35,318	3,974
令和 2	83,797	35,719	3,984

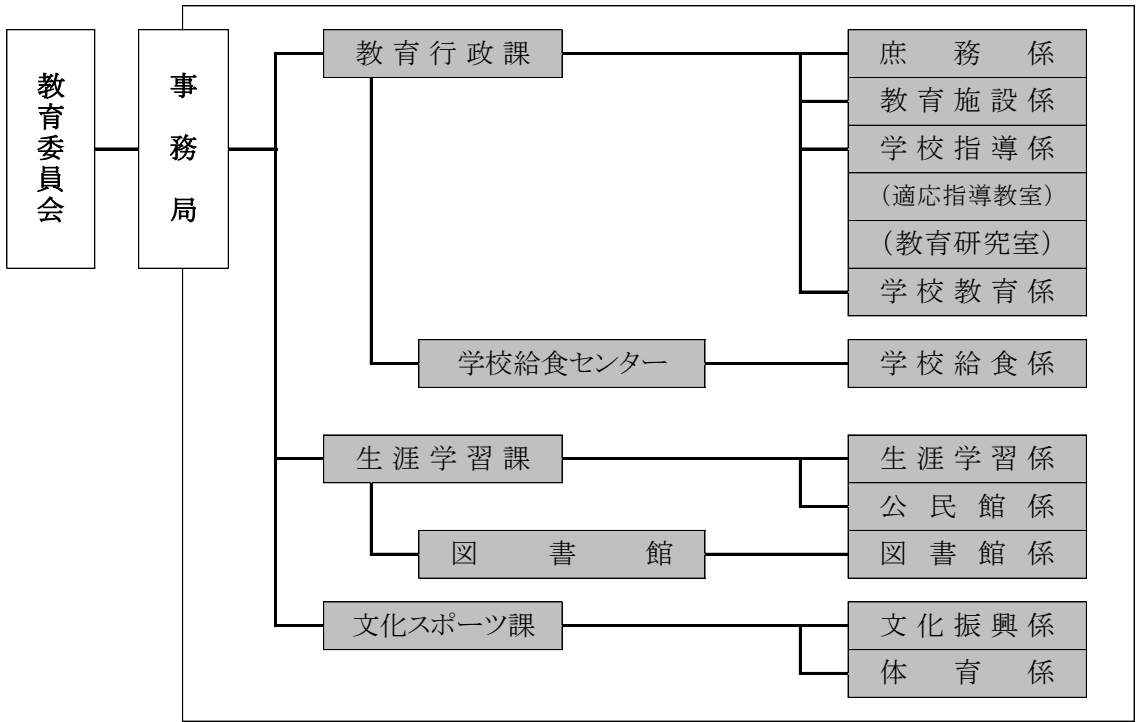
歴代教育長・教育委員

氏 名	在 任 期 間	備 考
川本 宗男	(昭和42.10.1) ～ 46.9.30	委員長(昭和42.10.4～46.9.30)
山内 勇夫	(43.10.1) ～ 47.9.30	
加藤 新吉	(44.10.1) ～ 48.9.30	
太田 一二	(45.10.1) ～ 49.9.30	委員長(46.10.7～49.9.30)
松原 勝	(43.10.1) ～ 51.9.30	教育長
斉場 鈔男	46.10.1 ～ 50.9.30	委員長(49.10.3～50.9.30)
和佐田 高望	47.10.1 ～ 48.10.4	
矢野 峯清	48.10.1 ～ 52.9.30	委員長(50.10.2～52.9.30)
可知 かよ子	48.12.15 ～ 51.9.30	
見浦 永紀	49.10.1 ～ 53.9.30	委員長(52.10.6～53.9.30)
松尾 富之	50.10.1 ～ 54.9.30	委員長(53.10.5～54.9.30)
碓永 鎰一	51.10.1 ～ 55.9.30	委員長(54.10.4～55.4.30)
水野 芳朗	51.10.1 ～ 59.9.30	教育長
深谷 信夫	52.10.1 ～ 56.9.30	委員長(55.10.1～56.9.30)
柴田 敏之	53.10.1 ～ 57.9.30	委員長(56.10.6～57.9.30)
川島 光晴	54.10.1 ～ 58.9.30	委員長(57.10.1～58.9.30)
小澤 利明	55.10.1 ～ 59.9.30	委員長(58.10.6～59.9.30)
西尾 成之	56.10.1 ～ 60.9.30	委員長(59.10.1～60.9.30)
加藤 義之	57.10.1 ～ 61.9.30	委員長(60.10.2～61.9.30)
佐伯 恭二	58.10.1 ～ 62.9.30	委員長(61.10.1～62.9.30)
立松 嘉男	59.10.1 ～ 63.9.30	委員長(62.10.1～63.9.30)
河村 義一	59.10.1 ～ 61.3.31	教育長
金田 正也	60.10.1 ～ 平成元.9.30	委員長(63.10.1～平成元.9.30)
木全 弦	61.4.1 ～ 4.9.30	教育長
宮崎 金市	61.10.1 ～ 2.9.30	委員長(平成元.10.2～2.9.30)
大岩 進	62.10.1 ～ 3.9.30	委員長(2.10.1～3.9.30)
池垣 俊生	63.10.1 ～ 4.9.30	委員長(3.10.1～4.9.30)
今井 光映	平成元.10.1 ～ 5.9.30	委員長(4.10.1～5.9.30)
木原 克之	2.10.1 ～ 6.9.30	委員長(5.10.1～6.9.30)
飯田 幸雄	3.10.1 ～ 7.9.30	委員長(6.10.3～7.9.30)
磯貝 満洲	4.10.1 ～ 8.9.30	委員長(7.10.2～8.9.30)
細田 義幸	4.10.1 ～ 8.9.30	教育長
曾我 尚之	5.10.1 ～ 7.6.30	
西村 暁夫	6.10.1 ～ 10.9.30	委員長(9.10.1～10.9.30)
加藤 壽生	7.7.1 ～ 9.9.30	委員長(8.10.1～9.9.30)
畑中 弘	7.10.1 ～ 11.9.30	委員長(10.10.1～11.9.30)
箕輪 淳子	8.10.1 ～ 12.9.30	委員長(11.10.1～12.9.30)
若杉 普	8.10.1 ～ 12.9.30	教育長
谷口 幸治	9.10.1 ～ 13.2.13	委員長(12.10.1～13.2.13)
笠井 健一	10.10.1 ～ 14.9.30	委員長(13.3.23～14.9.30)
山本 耕平	11.10.1 ～ 15.9.30	委員長(14.10.1～15.9.30)
安藤 公爾	12.10.1 ～ 16.9.30	委員長(15.10.1～16.9.30)
小川 進吾	12.10.1 ～ 16.9.30	教育長
塚本 芳美	13.3.23 ～ 17.9.30	委員長(16.10.1～17.9.30)
岩崎 巖	14.10.1 ～ 18.9.30	委員長(17.10.1～18.9.30)

丹羽 敏行	15. 10. 1 ～ 19. 9. 30	委員長(18. 10. 1～19. 9. 30)
星合 充基	16. 10. 1 ～ 20. 9. 30	委員長(19. 10. 1～20. 9. 30)
和田 浩志	16. 10. 1 ～ 21. 3. 31	教育長
鈴木 章代	17. 10. 1 ～ 21. 9. 30	委員長(20. 10. 1～21. 9. 30)
田中 宏和	18. 10. 1 ～ 22. 9. 30	委員長(21. 10. 1～22. 9. 30)
成瀬 範恭	19. 10. 1 ～ 23. 9. 30	委員長(22. 10. 1～23. 9. 30)
佐伯 公	20. 10. 1 ～ 24. 9. 30	委員長(23. 10. 1～24. 9. 30)
玉置 基	21. 4. 1 ～ 28. 9. 30	教育長
細田 智恵子	21. 10. 1 ～ 25. 9. 30	委員長(24. 10. 1～25. 9. 30)
石原 淳二	22. 10. 1 ～ 26. 9. 30	委員長(25. 10. 1～26. 9. 30)
見浦 大耕	23. 10. 1 ～ 27. 9. 30	委員長(26. 10. 1～27. 9. 30)
鈴木 達人	24. 10. 1 ～ 28. 9. 30	委員長(27. 10. 1～28. 9. 30)
谷山 れい子	25. 10. 1 ～ 29. 9. 30	
杉浦 ますみ	26. 10. 1 ～ 30. 9. 30	
大川 将史	27. 10. 1 ～ 令和元. 9. 30	
河村 晋	28. 10. 1 ～	教育長
大岩 裕泰	28. 10. 1 ～ 2. 9. 30	
山本 真依子	29. 10. 1 ～	
堀 祐子	30. 10. 1 ～	
伊藤 智成	令和元. 10. 1 ～	
松尾 功	2. 10. 1 ～	

教育委員会の組織

1 組織図



2 教育委員会職員数の状況 (令和2年5月1日現在)

職等の区分 所属区分		市 職 員																県職員（派遣）		合 計	
		行 政 職 員								労務職員		会 計 年 度 任 用 職 員									
		部 長 級	部 次 長 級	課 長 級	課 長 補 佐 級	係 長 級	主 査 級	主 事 級	主 事 補 級	技 能 員	用 務 員	事 務 員	適 応 指 導 教 室 専 任 指 導 員	教 育 研 究 員	公 民 館 主 事	生 涯 学 習 ア ド バ イ ザ ー	図 書 館 司 書 員	学 芸 員	指 導 主 事		栄 養 教 諭
事務局	部 長 ・ 管 理 指 導 主 事	1	1															※ ₁		2	
	教 育 行 政 課			2	4	1	2	2		1	3	2	3	3				※ ₂		23	
	生 涯 学 習 課			1		2	13	1								2				19	
	文 化 ス ポ ー ツ 課		1		1	1	1	5				1						1		11	
教育機関	学 校 給 食 セ ン タ ー			1		2					1									3	7
	図 書 館			1	1	2	2	1		1						3				11	
合 計		1	2	5	6	8	18	9	0	2	4	3	3	3	0	2	3	1	※ ₃	3	73

※県職員(派遣)再掲:指導主事については、部次長級、課長級、課長補佐級。

教育委員会の分掌事務

教育行政課

庶務係

- 1 教育委員会の会議及び教育委員会委員に関すること。
- 2 教育委員会規則等の制定又は改廃の総括に関すること。
- 3 教育委員会の告示及び公告に関すること。
- 4 公印の管理に関すること。
- 5 事務局の職員の任免その他人事に関すること。
- 6 教育委員会の予算及び決算の総括に関すること。
- 7 教育に係る調査及び統計の総括に関すること。
- 8 要保護及び準要保護の児童及び生徒に係る就学援助に関すること。
- 9 特別支援教育の就学奨励に関すること。
- 10 情報機器その他学校備品に関すること。
- 11 学校用務員等に関すること。
- 12 私立学校(幼稚園を除く。)に関すること。
- 13 教育行政の相談に関すること。
- 14 学校及び学校給食センターの設置、変更及び廃止に関すること。
- 15 通学区域の設定及び変更に関すること。
- 16 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の総括に関すること。
- 17 愛日地方教育事務協議会に関すること。
- 18 教育に係る表彰に関すること。
- 19 教育委員会の庶務に関すること。
- 20 課の庶務に関すること。
- 21 その他他の所管に属さない教育委員会の事務に関すること。

教育施設係

- 1 学校施設の整備、営繕及び維持管理に関すること。
- 2 その他教育委員会が所管する施設の営繕(軽微なものを除く。)に関すること。
- 3 教育委員会が所管する施設の整備計画に関すること。

学校指導係

- 1 学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導に関すること。
- 2 県費負担教職員の任免、懲戒その他進退の内申に関すること。
- 3 県費負担教職員の服務の監督及び勤務評定に関すること。
- 4 県費負担教職員の資質向上に関すること。
- 5 就学指導に関すること。
- 6 教育相談に関すること。
- 7 教育研究室に関すること。
- 8 適応指導教室に関すること。
- 9 その他学校指導に関すること。

学校教育係

- 1 教科書その他の教材に関すること。
- 2 学校評議員に関すること。
- 3 学齢児童及び学齢生徒の就学並びに児童及び生徒の入学、転学及び退学に関すること。
- 4 通学路に関すること。
- 5 区域外就学及び指定校の変更に関すること。
- 6 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- 7 児童、生徒及び教職員の保健及び安全に関すること。
- 8 その他学校教育に関すること。

生涯学習課

生涯学習係

- 1 生涯学習の推進及び振興に関すること。
- 2 社会教育委員に関すること。
- 3 青少年及び女性活動に関すること。
- 4 社会教育関係団体の育成に関すること。
- 5 視聴覚教育に関すること。
- 6 その他生涯学習に関すること。
- 7 課の庶務に関すること。

公民館係

- 1 公民館事業の実施及び公民館活動の推進

に関すること。

- 2 公民館運営審議会に関すること。
- 3 公民館施設に関すること。
- 4 その他公民館に関すること。

文化スポーツ課

文化振興係

- 1 文化行政の総合企画及び調整に関すること。
- 2 文化芸術の普及及び振興に関すること。
- 3 文化芸術団体の育成に関すること。
- 4 文化事業の支援に関すること。
- 5 文化会館に関すること。
- 6 どうだん亭に関すること。
- 7 文化財の保護に関すること。
- 8 文化財の調査、研究及び保存に関すること。
- 9 文化財保護審議会に関すること。
- 10 歴史民俗資料に関すること。
- 11 市誌に関すること。
- 12 その他文化振興に関すること。

体育係

- 1 スポーツの普及及び振興に関すること。
- 2 スポーツ事業の計画及び実施に関すること。
- 3 スポーツ団体の育成に関すること。
- 4 スポーツ推進委員に関すること。
- 5 学校体育施設の開放に関すること。
- 6 体育施設に関すること。
- 7 その他スポーツに関すること。
- 8 課の庶務に関すること。

学校給食センター

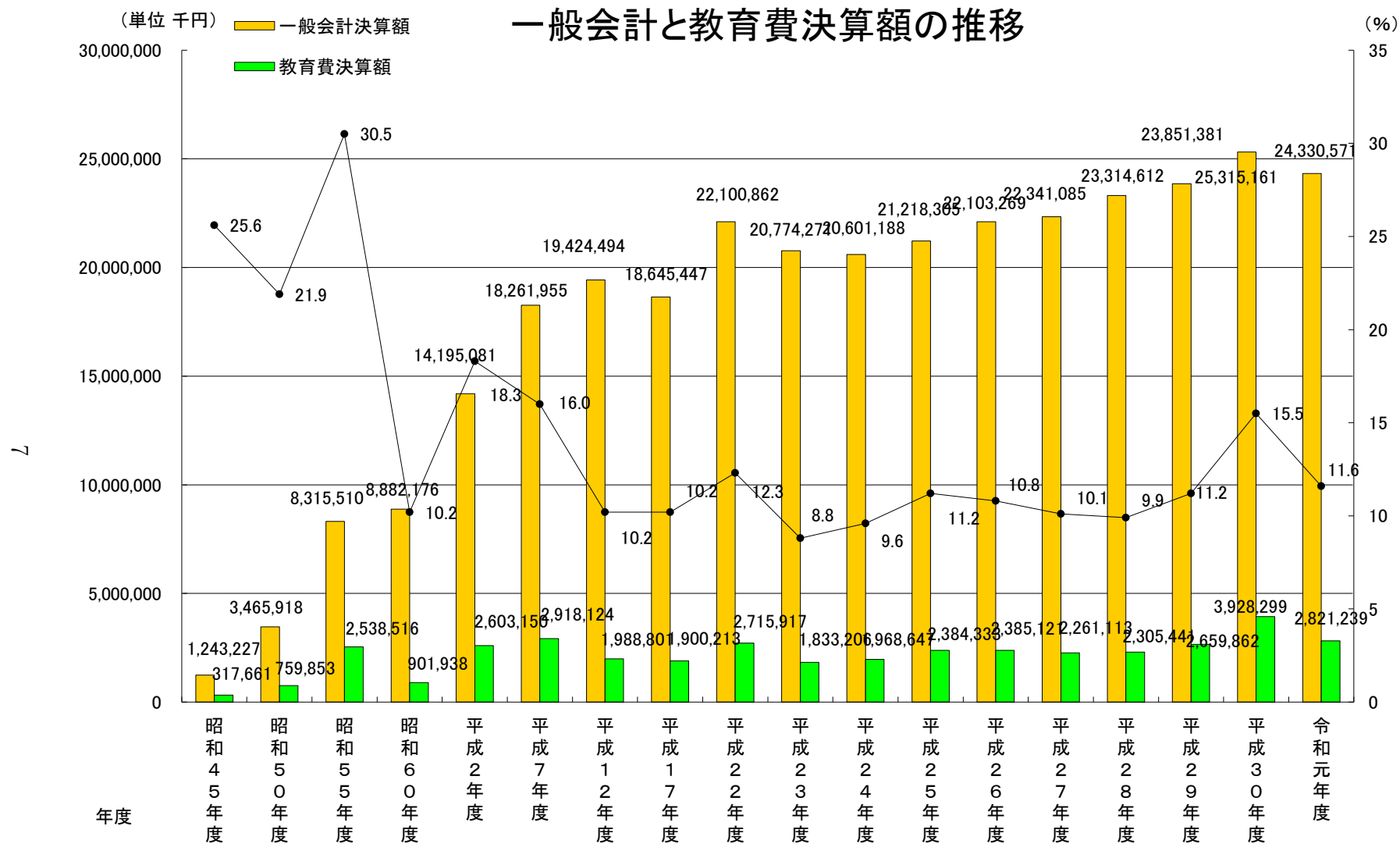
学校給食係

- 1 給食調理に関すること。
- 2 給食の配送に関すること。
- 3 学校給食運営委員会に関すること。
- 4 学校給食センターの運営及び管理に関すること。
- 5 学校給食センターを活用した食育の推進に関すること。
- 6 学校給食費に関すること。
- 7 学校給食物資の選定、調達及び検収に関すること。
- 8 その他学校給食に関すること。

図書館

図書館係

- 1 図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- 2 図書館協議会に関すること。
- 3 図書館活動の推進に関すること。
- 4 図書館の運営及び管理に関すること。
- 5 その他図書館に関すること。



令和元年度決算額の状況

教育費の歳出内訳

(単位 円)

予 算 区 分	予 算 費 目	決 算 額	比 率 (%)
教育総務費	教育委員会費	2,288,977	0.1
	事務局費	456,245,690	16.2
	教育振興費	114,277,148	4.0
	計	572,811,815	20.3
小学校費	学校管理費	596,412,882	21.1
	教育振興費	103,473,283	3.7
	計	699,886,165	24.8
中学校費	学校管理費	572,979,897	20.3
	教育振興費	72,248,516	2.6
	計	645,228,413	22.9
給食センター費	給食センター費	552,791,346	19.6
	計	552,791,346	19.6
社会教育費	社会教育総務費	11,692,275	0.4
	社会教育振興費	5,061,764	0.2
	公民館費	101,168,138	3.6
	図書館費	47,843,470	1.7
	文化財保護費	12,411,333	0.4
	文化会館費	72,599,132	2.6
	計	250,776,112	8.9
保健体育費	保健体育総務費	9,986,613	0.3
	体育施設管理費	89,758,241	3.2
	計	99,744,854	3.5
総 額		2,821,238,705	100.0

一般会計の状況

歳 入

(単位 円)

区 分	決 算 額	比 率 (%)
市税	12,535,785,580	49.7
地方譲与税	176,203,017	0.7
地方交付税	1,033,559,000	4.1
国庫支出金	3,215,528,035	12.8
県支出金	1,651,474,441	6.6
分担金・負担金	60,686,571	0.2
使用料・手数料	400,056,905	1.6
諸収入	914,752,957	3.6
その他	5,227,711,217	20.7
合 計	25,215,757,723	100.0

歳 出

(単位 円)

区 分	予 算 額	比 率 (%)
議会費	245,290,481	1.0
総務費	3,374,819,428	13.9
民生費	9,961,571,355	40.9
衛生費	2,093,652,360	8.6
労働費	92,230,470	0.4
農林水産業費	142,635,854	0.6
商工費	449,436,542	1.9
土木費	2,750,528,731	11.3
消防費	812,603,368	3.3
教育費	2,821,238,705	11.6
災害復旧費	0	0.0
公債費	1,536,046,615	6.3
その他	50,516,443	0.2
合 計	24,330,570,352	100.0

令和２年度当初予算の状況

教育費の歳出内訳

(単位 千円)

予 算 区 分	予 算 費 目	予 算 額	比率(%)
教育総務費	教育委員会費	2,690	0.1
	事務局費	569,053	24.8
	教育振興費	133,822	5.8
	計	705,565	30.8
小学校費	学校管理費	302,718	13.2
	教育振興費	93,941	4.1
	計	396,659	17.3
中学校費	学校管理費	143,779	6.3
	教育振興費	68,028	3.0
	計	211,807	9.2
給食センター費	給食センター費	597,706	26.1
	計	597,706	26.1
社会教育費	社会教育総務費	10,430	0.5
	社会教育振興費	5,559	0.2
	公民館費	125,395	5.5
	図書館費	36,962	1.6
	文化財保護費	26,091	1.1
	文化会館費	69,243	3.0
	計	273,680	11.9
保健体育費	保健体育総務費	10,375	0.5
	体育施設管理費	96,618	4.2
	計	106,993	4.7
総 額		2,292,410	100.0

一般会計の状況

歳 入

(単位 千円)

区 分	予 算 額	比率(%)
市税	12,514,200	50.4
地方譲与税	183,000	0.8
地方交付税	1,070,000	4.3
国庫支出金	3,003,492	12.1
県支出金	1,770,800	7.1
分担金・負担金	47,757	0.2
使用料・手数料	331,385	1.3
諸収入	866,707	3.5
その他	5,032,659	20.3
合 計	24,820,000	100.0

歳 出

(単位 千円)

区 分	予 算 額	比率(%)
議会費	254,184	1.0
総務費	3,213,397	12.9
民生費	10,542,021	42.5
衛生費	2,241,576	9.0
労働費	91,728	0.4
農林水産業費	144,229	0.6
商工費	319,918	1.3
土木費	2,529,003	10.2
消防費	1,505,301	6.1
教育費	2,292,410	9.2
災害復旧費	1,100	0.0
公債費	1,607,983	6.5
その他	77,150	0.3
合 計	24,820,000	100.0

尾張旭市教育委員会のあゆみ

年月 (昭和)	ことがら	年月 (昭和)	ことがら
22年	教育基本法、学校教育法が制定され、6・3制学校制度始まる。 渋川国民学校（前身渋川学校）が渋川小学校、旭国民学校（前身魁昇学校）が旭小学校になる。	49年10月	城山公園に野球場オープン
23年	旭村立中学校開校 教育委員会法制定 町制を施行、東春日井郡旭町誕生	50年2月	城山小学校増築完成
24年	社会教育法制定	3月	第2学校給食共同調理場完成
25年	旭町社会教育委員条例制定	11月	第1回市民展を開催
27年	東栄小学校開校 東春日井郡旭町教育委員会設置 （全国すべての市町村に教育委員会が置かれる。）	12月	本地原小学校体育館完成
29年	本地原小学校開校	51年4月	東中学校開校
31年	教育委員会法が廃止され、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が制定される。	6月	東中学校体育館、プール完成
32年	旭町立公民館オープン	7月	瑞鳳小学校プール完成
33年	「棒の手」が県の無形文化財に指定	11月	白鳳小学校体育館完成
40年	本地原小学校増築完成 渋川公民館オープン 東栄小学校移転新築 （体育館・プールも完成）	52年2月	本地原小学校増築完成
41年	明るい青少年の町宣言	3月	城山小学校増築完成
44年	旭町役場（現市庁舎）完成	4月	「印場大塚古墳」発刊
45年4月	城山小学校開校	4月	教育委員会事務局に学校教育課、社会教育課を設置
12月	市制を施行尾張旭市誕生	11月	瑞鳳小学校体育館完成
46年3月	尾張旭市誌（本文編、資料編）を発刊	11月	城山公園テニスコート、弓道場オープン
5月	東栄小学校増築完成	12月	旭小学校体育館完成
47年4月	学校給食共同調理場完成	53年1月	市総合体育館オープン
6月	白鳳小学校開校	3月	映画「棒の手」できる。
7月	本地原小学校増築完成	3月	「尾張旭市の古窯」発刊
旭中学校増築完成		4月	瑞鳳小学校開校
白鳳小学校、本地原小学校プール完成		11月	渋川小学校プール完成
天狗岩古墳移築完了		12月	市内史跡めぐり開始
12月	城山小学校増築完成	54年2月	本地原小学校増築完成
48年7月	付知峡に野外活動センターオープン	城山公園に古民家移築	
10月	旭小学校、渋川小学校が開校100年を迎える。	城山野球場にナイター設備を整備	
49年3月	城山小学校体育館完成	3月	旭小学校プール完成
6月	白鳳小学校増築完成	4月	瑞鳳公民館オープン
	旭小学校移転新築	旭前テニスコート開場	
		旭丘小学校開校	
		（プールも完成）	
		旭丘小学校体育館完成	
		市民プールオープン	
		瑞鳳小学校増築完成	
		白鳳小学校増築完成	
		55年4月	西中学校開校
		（体育館、プールも完成）	
		渋川小学校移転新築	
		（体育館も完成）	
		5月	市文化協会設立
		9月	市民憲章を制定
		12月	初の市民芸能発表大会を開催
			市制10周年記念式典
			市誌「文化財編」発刊
		56年2月	城山小学校増築完成
			教育委員会事務局に体育課を設置

年月 (昭和)	ことがら
56年 4月	三郷公民館オープン 市立図書館オープン
8月	聖観世音など3件を市文化財に初指定
10月	地域文化広場(文化会館、あさひのホール)オープン
57年 3月	「尾張旭の自然」発刊
4月	三郷小学校開校 (体育館も完成) 旭ヶ丘運動広場開場 藤池公民館オープン
5月	三郷小学校プール完成
6月	青少年健全育成推進会議を設立
8月	旭ヶ丘テニスコート、キャンプ場オープン
58年 3月	市指定文化財に狛犬など3件を指定 「長坂古墳群」発刊
4月	平子公民館、本地原公民館オープン
6月	夏季市民体育大会30回を数える。
8月	全国高校総合体育大会(フェンシング)を市総合体育館で開催
59年 3月	「馬の塔」発刊
7月	付知野外活動センター増築、キャンプ場移転新築
9月	中央公民館オープン
60年 3月	アフリカ難民救援活動(募金)に小、中学校も参加 「尾張旭の城館址」発刊
11月	移動図書館車「ひまわり号」巡回開始
61年 2月	市指定文化財に良福寺山門外1件を指定
4月	3中学校にクラブ用パソコンを5台ずつ配置
5月	3中学校の英会話部活動に外国人講師を派遣
62年 2月	東中学校に柔剣道場完成
4月	白鳳公民館オープン 教育委員会事務局に学校指導室を設置 学校指導室に教育相談専用回線 「こころの電話」を設置
12月	井田、晴丘テニスコートオープン
63年 3月	旭中学校に柔剣道場完成

年月 (昭和・平成)	ことがら
4月	学校・市教委間にファクシミリ設置 旭丘公民館、晴丘運動広場オープン
7月	小学校全校に低学年用プール設置 本地原小学校プールへの歩道橋完成
元年 2月	全小学校にトランペット鼓隊編成
4月	西中学校に柔剣道場完成 全中学校英語授業に英会話外国人講師派遣 強化磁器食器小学校で試験導入
5月	全中学校のクラブ用パソコンを各15台に増設 旭中学校プール完成
6月	全中学校にブラスバンド編成
9月	西中学校に校庭開放夜間照明施設完成
10月	「尾張旭の地名」発刊
2年 4月	市の昔話絵本「卓ヶ洞の竜」発刊
6月	図書館の夜間、祝日開館始まる。
9月	旭中学校に校庭開放夜間照明施設完成
3年 4月	城山テニスコートに夜間照明施設完成 南グランドオープン
9月	東中学校に校庭開放夜間照明施設完成
11月	東中学校で初のコンピュータ授業開始
4年 1月	イベント形式による初の「新成人の集い」開催
4月	「尾張旭の道」、「尾張旭のため池」、「尾張旭のことば」、「尾張旭の農業歳時記」発刊
5月	市指定文化財に狩宿郷倉を指定
9月	旭中学校、西中学校にコンピュータ教室設置
5年 4月	第49回国体開催に備え教育委員会事務局に国体課を設置
8月	中学生海外派遣はじまる。
11月	第5回全国生涯学習フェスティバル見本市出展
6年 2月	三郷小学校増築完成
6月	国体馬術競技リハーサル大会を森林公園馬術場で開催
7月	小中学校プールの洗体槽を廃止し、温水シャワーを設置

年月 (平成)	ことがら
6年10月	第49回国民体育大会馬術競技会を森林公園馬術場で開催
7年2月	第1回愛知県生涯学習フェスティバル開催
3月	国体課廃止
4月	教育委員会事務局に教育研究室を設置
10月	市制25周年記念市民祭「警固」を実施
8年3月	第1回尾張旭市生涯学習フェスティバル開催
4月	渋川公民館オープン
9年9月	本地原小学校にコンピュータ教室設置
10年4月	学校指導室に適応指導教室「つくしんぼ」を設置
9月	東栄小学校、渋川小学校、白鳳小学校、旭丘小学校、三郷小学校にコンピュータ教室設置
11年1月	「成人式」を「新成人の集い」に変更し、3中学校区別で開催
4月	どうだん亭オープン
9月	旭小学校、瑞鳳小学校にコンピュータ教室設置
11月	中学校にインターネット接続 城山小学校耐震補強工事完了 城山小学校にコンピュータ教室設置
12年4月	市指定文化財に尾張旭市の馬の塔を指定 小学校に英会話外国人講師派遣 生活指導員（SA）を全小中学校に派遣
9月	給食センター食器をポリプロピレン製に変更 小学校にインターネット接続
10月	市制30周年記念市民祭「警固」を実施
13年4月	学校評議員制度全校導入
8月	移動図書館完全廃止
11月	旭丘小学校FBC（秋花壇の部）国土交通大臣賞受賞
14年4月	完全学校週5日制導入 総合的な学習の時間本格実施
10月	本地原小学校耐震補強工事完了
15年2月	渋川小学校増築完成 太陽光発電システム設置
15年8月	旭小学校、渋川小学校、瑞鳳小学校、旭丘小学校の体育館耐震補強工事完了

年月 (平成)	ことがら
15年10月	市指定文化財に長池のマメナシ・アイナシ自生地、吉賀池湿地を指定
11月	白鳳小学校耐震補強工事完了 体育協会創立50周年記念式典 「尾張旭の教育を考える協議会」設置
16年4月	防犯ブザーを全児童に配布 図書館 広域貸出の開始 (瀬戸市、長久手町、名古屋守山区)
8月	「尾張旭の教育を考える協議会」答申
9月	旭中学校体育館、東中学校体育館の耐震補強工事完了 全校と教育委員会をネットワークで結ぶ「オフィス・マネージャー」の運用を開始
10月	図書館インターネット蔵書検索及び予約システムの開始 図書館閉架書庫増築工事及び耐震補強工事施行
17年1月	新成人の集い開催日を3連休の中日に変更
4月	学校生活指導補助員（SS）を全小学校に派遣
8月	総合体育館トレーニング室全面改修
9月	中学校 普通教室 扇風機設置 教職員用ノートパソコンの配備開始 旭小学校で校務支援用サーバ「エデュコムマネージャー」の運用を開始
10月	小学校区でスクールガードリーダーによる巡回指導の開始 東中学校耐震補強工事完了 市制35周年記念市民祭「警固」を実施
18年8月	中央公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰
10月	小学校 普通教室 扇風機設置 旭小学校耐震補強工事完了 体育施設あいち共同利用型施設予約システムの開始
19年3月	総合体育館耐震補強工事完了 スポーツクラブあさびー西設立
19年4月	市民プール 指定管理者制度導入 文化会館 指定管理者制度導入

年月 (平成)	ことがら
19年 4 月	市指定文化財に狩宿白山神社の陶製狛犬を指定 中央公民館あいち共同利用型施設予約システムの開始
7 月	夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会
8 月	中学生海外研修に名称を変更し実施
10月	東栄小学校、瑞鳳小学校、旭丘小学校、旭中学校耐震補強工事完了
20年 3 月	尾張旭市文化振興計画を策定 白鳳小学校増築竣工
4 月	文化会館の自主文化事業を指定管理者に移行 体育施設に指定管理者制度導入（市民プール広場、平子北グラウンドを除く）
5 月	国登録文化財に「どうだん亭（旧浅井家住宅離れ）」登録
9 月	三郷小学校F B C 日本植物園協会賞受賞
10月	洪川小学校、本地原小学校、西中学校耐震補強工事完了 （全小中学校の耐震補強工事完了）
11月	尾張旭市の棒の手愛知県指定 5 0 周年記念式典
21年 2 月	図書館に朝見武彦文庫健康コーナー設置
3 月	付知野外活動センター廃止
4 月	三郷小学校F B C 日本植物園協会賞受賞
5 月	城山小学校放課後子ども教室を試行的に開始
7 月	新型インフルエンザの流行により中学生海外研修を中止
9 月	「オフィス・マネージャー」の運用を終了し「校務AssistCS」の運用を開始 三郷小学校F B C 名古屋鉄道賞受賞
10月	文化協会設立 3 0 周年記念式典 利用者が自身で貸出を行える「セルフ貸出機」導入
22年 3 月	「スポーツクラブあさびー西」の名称を「スポーツクラブあさびー」に変更
4 月	図書館広域貸出に日進市を追加
6 月	J I C A が三郷小学校を訪問

年月 (平成)	ことがら
22年 8 月 9 月	学校給食センター完成 学校給食センター稼働 給食食器を強化磁器製に変更 学校給食調理業務等民間委託開始 市制 4 0 周年記念フレンドシップ事業 （オーストラリア生徒・先生を招待） 三郷小学校F B C 中部善意銀行賞受賞
10月	市制 4 0 周年記念市民祭「警固」を実施 市制 4 0 周年記念「ふるさとの文化財展」を実施
23年 1 月	市制 4 0 周年記念「市民合唱団ニューイヤーコンサート」・「新春かるた大会」を実施
3 月	尾張旭市誌 現代史編を発行 東日本大震災の発生を受け小中学校で募金活動を実施。日本赤十字社を通じ、2, 0 4 7, 2 5 6 円の義援金を贈る。 放課後子ども教室事業を児童館事業へ統合
4 月	教職員の指導力向上を目的にスーパーバイザー事業を開始 尾張旭市子ども読書活動推進計画策定 東日本大震災に配慮し、あさびースマイルウォーキング大会中止 公募の講師による市民塾「あさびーなび」を公民館講座として開始
9 月	三郷小学校F B C 東海テレビ賞受賞
11月	愛知県文化協会連合会東尾張部芸能大会を文化会館で開催 あいち文化遺産保存活用推進事業「伝統文化出張講座」を旭丘小学校で開催
24年 3 月	図書館 I C タグ蔵書管理システム運用開始
24年 6 月 (～11月)	文化会館耐震補強改修工事のため、6 月 1 9 日から 1 1 月 2 2 日まで文化会館ホールを一部休館
8 月	図書館雑誌スポンサー制度開始
9 月	尾張旭市誌 現代史資料編を発行
25年 1 月 4 月	本地原小学校大規模改造工事完了 地区公民館（市内 8 か所）で図書館の図書返却受付開始

年月 (平成)	ことがら
25年 4月	勤労青少年ホームを中央公民館に編入統合
7月	図書館第2・4月曜日開館開始
9月	三郷小学校FBC愛知県知事賞受賞
10月	印場大塚古墳復元家屋屋根葺き替え工事完了
26年 4月	教育振興基本計画を策定 小中学校体育施設開放の有料化を開始 地区公民館（三郷、本地原、旭丘）に市民活動課職員との併任辞令を受けた公民館主事を配置
7月	あさひこども読書通帳を配布 卓ヶ洞2号、3号、4号窯の発掘調査
10月	渋川小学校FBC日本植物園協会賞受賞
11月	尾張旭市いじめ防止基本方針を策定
27年 1月	城山小学校大規模改造工事完了
4月	教育委員会事務局教育行政課と学校教育課を統合 私立学校修学支援事業補助金を創設
5月	第1回総合教育会議開催
9月	小中学校体育館非構造部材耐震化工事完了
10月	市制45周年記念市民祭「警固」を実施 三郷小学校FBC名古屋鉄道賞受賞
28年 1月	市民会館閉館に伴い、新成人の集い旭中学校区会場を旭中学校体育館に変更
2月	市民会館閉館に伴い、生涯学習課事務室を中央公民館内に移転
3月	スカイワードあさひ天体観測室に10cmH α 太陽専用望遠鏡を導入 中央公民館改修工事完了（会議室等改修、展示ロビー新設等）
28年 4月	市民会館閉館に伴い、教育研究室、適応指導教室、少年センターが中央公民館に移転
7月	スクールソーシャルワーカー（SSW）を1名配置
12月	東栄小学校大規模改造工事完了
29年 2月	スカイワードあさひ天体観測室等をリニューアル

年月 (平成・令和)	ことがら
29年 2月	旭小学校ユネスコスクールに登録 図書館館外貸出券更新開始
3月	市立視聴覚ライブラリー廃止
4月	スクールソーシャルワーカー（SSW）を各中学校区に1名ずつ配置
9月	中学校 普通教室 空調設備整備
10月	尾張旭版コミュニティスクールの名称を「あさひスマイルコミュニティ」に決定 晴丘テニスコート改修工事完了（全面砂入り人工芝コート化） 庄中保存会から市指定文化財「円空仏」寄贈
30年 3月	瑞鳳公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰 平成30年4月小中学校入学予定者に対して就学援助の新入学学用品費の入学前支給を実施 井田・井田第2テニスコート閉鎖
4月	歴史民俗フロアで市指定文化財「円空仏」の常設展示開始
9月	給食センターに厨房除害処理施設増設 残乳投入設備設置
10月	小学校（旭、渋川、瑞鳳、旭丘、三郷）普通教室 空調設備整備
30年12月	白鳳小学校大規模改造工事完了
31年 2月	文化会館改修工事完了
3月	教育振興基本計画を改訂
4月	文化会館リニューアルオープン
元年 5月	小学校（東栄、本地、城山、白鳳）普通教室 空調設備整備
6月	森林公園にて「第70回全国植樹祭」を開催
10月	三郷小学校FBC松坂屋名古屋店賞受賞
2年 3月	新型コロナ感染症拡大により小中学校臨時休業
4月	学校給食飲用牛乳の容器が瓶容器から紙容器へ変更
7月	臨時休業の影響により小中学校夏季休業の短縮
8月	新型コロナ感染症拡大により中学校海外研修事業中止
11月	旭中学校大規模改造工事完了

教育委員会の施策

本市では、昭和48年に「尾張旭市総合計画」を策定して以来、昭和57年、平成5年、平成16年と改訂を重ね、まちづくりを進めてきた。現在は平成26年からの「第五次総合計画」に基づき、まちづくりを進めている。教育委員会では、第五次総合計画を上位計画とする教育分野における、より具体化した計画として、「尾張旭市教育振興基本計画」を策定し、教育の振興を行っていく。

1 本市の教育の理念

尾張旭市教育振興基本計画において、尾張旭市が今後進めるべき教育分野の方向を明らかにするため、次のとおり本市の教育の理念を掲げています。

〈尾張旭市の教育理念〉

つながり合い 伸びる 尾張旭の教育
～ こどもから大人へ 家庭から社会へ ～

● つながり合い 伸びる

幼年期から老年期までの各ライフステージを通して学びの機会を提供していくという縦軸の取り組みと、多様な教育ニーズに対応できるよう社会全体で学びの場を提供していくという横軸の取り組みとが、有機的につながり、連携、協力のなかで本市の教育をさらに高めていきたいという思いを込めています。

● こどもから大人へ

人は、こどもから人生をスタートさせます。特に、変化の激しい社会においては、学校段階はもとより、生涯を通じて自らを磨き、高めていくことが重要であり、それぞれのライフステージに応じた学習システムを連携・接続していかなければなりません。こうしたことから「こども」から「大人」への成長過程において、つながり合い「自立、協働、創造」を基調とした生涯学習の実現を表しています。

● 家庭から社会へ

教育は社会全体の存立基盤であり、その始まりは家庭教育です。そして、「家庭から社会へ」と広がりのある表現とすることで、学校や行政、地域などの教育を担う、あるいは関わりを期待する主体も包含し連携・協力していくことを表しています。これらの主体は、本市の教育の横軸に位置づけられるものです。結びを「社会へ」としたのは、目指すところを単なる自己実現に留まらず、その培った知識、技能、経験などを社会に還元し、貢献してもらうことを期待していることを表しています。

2 本市教育の目指す人間像

尾張旭市では、昭和55年に市民の願いを込めて「尾張旭市民憲章」を定めました。その中では、自然への愛情や郷土への思いを述べるほか、教養、文化の向上や勤労の喜び、規律を重んじる一方で、安らぎの家庭や心かようまちの実現を希求しています。今も変わらないこの思いを参酌し、1で掲げた理念のもと、次のような人間像を目指します。

● 命を大切にし、多様な社会の中で懸命に生き抜く人

多様な個性・能力を互いに認め合いながら、社会が大きく変化しようとも、自他の命を大切にし、生き抜くために必要な力を、主体的に身につけた人となることを目指します。

● 高い規範意識の中で、自立した行動のとれる人

自らの果たすべき役割や責任を自覚し、社会の一員として道徳観、倫理観をしっかりと持って、自立心にあふれた人となることを目指します。

● 郷土を愛し、自己の能力を発揮して社会に貢献できる人

郷土に生まれ、郷土に育まれた人たちが、郷土に愛着をもち、地域における様々な活動を通して、自らが学んできた知識、技能、経験などを社会に還元することができる人となることを目指します。

3 教育委員会の施策

基本理念の具現化に向け、今後10年間を通して取り組む基本的な施策を定め、基本施策を達成するための具体的手段として、基本事業を定め、全体として目指す人間像の実現や基本理念の達成を目指します。

(基本施策)

1 豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

子どもたちの規範意識を養い、他人を思いやる心や感動する心を涵養するなど、豊かな人間性を育む教育を推進していきます。また、生涯をたくましく生き抜く「健康・体力」を培うため、学校体育の推進や食育の充実を図ります。

(基本事業)

- (1) 道徳性・社会性の向上
- (2) 健康教育の推進
- (3) 食育の推進

(基本施策)

2 良好な環境の中で確かな学力を育む教育の推進

学習意欲を高めるとともに、基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力を育む教育を推進します。また、今日的な課題に対応するための教育や特別支援教育など、個々のニーズに応じた教育を推進するとともに、各学校の特色を生かしながら、地域に開かれた学校づくりに取り組みます。さらには、こうした学校を支える教職員の資質の向上を図るとともに、学校施設の環境改善を図ります。

(基本事業)

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 現代的な課題に対応した教育の推進
- (3) 個に応じたきめ細かな指導の充実
- (4) 特色ある学校づくり※の推進
- (5) 教職員の資質向上
- (6) 教育環境の整備

(基本施策)

3 総合的な教育連携の推進

教育の原点である家庭教育力や地域で子どもたちを育むための地域教育力の充実を促進します。また、学校、家庭、地域の連携を横軸とし、各ライフステージにおける連携を縦軸において、総合的な教育のつながりを大切にします。一方、私立幼稚園の就園や義務教育課程の就学が経済的に困難である世帯に対しては、必要な援助を推進します。

(基本事業)

- (1) 家庭教育力の充実
- (2) 地域教育力の充実
- (3) 学校・家庭・地域の連携
- (4) 就園・就学の支援

(基本施策)

4 豊かな人生を彩る生涯学習の振興

民間等の生涯学習活動とすみ分けをしながら、各種の講座を開催するとともに、市民自らが講師となって、その知識や技術、経験を社会に還元してもらえるような取り組みを推進します。また、大学や民間などの生涯学習の情報も含めて集約、発信するとともに公民館などでは、その施設のありかたを検討します。図書館では、資料の充実やレファレンスサービスの充実を図るとともに施設の充実に努めます。

(基本事業)

- (1) 生涯学習活動の参加促進
- (2) 生涯学習情報の提供
- (3) 生涯学習施設の利用促進
- (4) 読書環境の整備

(基本施策)

5 心の豊かさを感じる文化の継承と振興

本市に古くから伝承されている文化財や伝統文化の保存と継承を図るとともに、地域の文化芸術活動の担い手である各種の文化活動団体の育成を行います。また、芸術文化活動の発表や鑑賞の機会を充実させるとともに、その活動拠点である文化会館の活性化と適切な維持管理に取り組みます。

(基本事業)

- (1) 文化財、伝統文化の保存と継承
- (2) 地域文化活動団体の育成
- (3) 芸術文化活動の環境整備

(基本施策)

6 健やかな人生を拓くスポーツの振興

人生の各段階に応じて、誰もがいつでもどこでもスポーツに親しむことができるよう各種のスポーツ大会を開催するとともに、その運営母体となるスポーツ団体の支援や指導者の育成に努めます。また、学校開放の運営の適正化や老朽化した体育施設の適切な維持管理を図りながら今後の施設のあり方について検討します。

(基本事業)

- (1) スポーツ活動の参加促進
- (2) スポーツ団体・指導者の育成
- (3) スポーツ活動の環境整備

学 校 教 育

学校支援

小中学校の教育活動を支援するため、教職員の研修、教育関係資料の収集や調査研究と情報提供及び教育相談と相談に係る関係機関との連携並びに各種支援に取り組んでいる。

1 教職員の研修

- (1) 現職研修事業の企画・運営及び支援
- (2) 教育関係図書等、教育資料の収集整備及び情報の提供

2 調査研究

- (1) いじめ・不登校や問題行動を含む教育の諸課題についての調査統計
- (2) 調査統計の分析結果等に基づく情報提供と学校教育への提言

3 教育相談（学校教育全般に係る相談）

- (1) 教育研究員による相談
保護者、教職員を対象
- (2) 心のアドバイザーによる相談（臨床心理、発達心理、特別支援教育）
ア 児童生徒、保護者、教職員を対象
イ 学校巡回及び中央公民館内相談室において相談を実施
- (3) 心の教室相談員による相談
ア 児童生徒、保護者、教職員を対象
イ 児童生徒の話し相手や悩み相談に助言し、児童生徒の健全育成を図る
- (4) スクールソーシャルワーカーによる相談（平成28年度から実施）
ア 児童生徒、保護者、教職員を対象
イ 関係機関と連携しいじめ・不登校等の問題の改善・解決を図る
- (5) 関係機関との連携
ア 適応指導教室つくしんぼ、子育て支援室、こどもの発達センター、健康課、少年センターとの連携
イ いじめ・不登校対策委員会、特別支援学級交流会運営委員会、生徒指導主事主任会、中学校生徒指導連絡会等との連携
ウ 県派遣小中学校カウンセラー、心の教室相談員（小中学校）等相談担当者等との連携

4 地域学校支援のコーディネート

- (1) 地域学校支援ボランティアの人材データバンク整備
- (2) 出前授業、ゲストティーチャー、講演会講師等のデータバンク整備
- (3) 地域学校支援の情報提供及び渉外
- (4) 地域学校支援推進事業（尾張旭版コミュニティスクール「あさひスマイルコミュニティー」）
地域住民の学校教育への参画を推進し、協働して子どもたちの成長を支え、地域とともにある学校づくりを各小学校区で進めている。

5 啓発情報の発信

教育研究室だより「爽風」の発行

特別支援教育

1 教育支援

教育支援委員会（平成28年度に委員会名を就学指導委員会から変更）を設置し、障がいのある児童生徒で教育上特別な支援を要する者の適正な就学等の教育支援を図っている。

昭和61・62年度の2年間にわたり特殊教育推進地区の指定を愛知県教育委員会から受け、「あたたかいまなざし、ともに生きる心」をテーマに研究を行った。

この研究の趣旨を持続させ、健康都市として、障がいのある人やその家族を孤立させることなく、市民全体の力で地域として温かく支えていくよう努めている。

2 特別支援学級

全校に知的障がい学級と自閉症・情緒障がい学級を設置。東栄小学校に視覚障がい学級を設置。東栄小学校、本地原小学校、旭丘小学校に肢体不自由学級を設置している（令和2年度計32学級）。

(1) 知的障がい学級

知的発達に遅れのある児童生徒に、少人数の集団の中で個に応じた指導を進め、基本的な生活習慣や基礎的な学力、集団生活に参加していく力を育てている。

(2) 自閉症・情緒障がい学級

情緒障がい等のため社会的適応が困難な児童生徒に対して、集団指導及び個別指導を行い、基本的な生活習慣の育成、遊びや対人関係、コミュニケーション等社会的適応力の育成を図っている。障がいの状態は様々であるが、主として自閉的傾向が強い児童生徒によって編制されている。

(3) 視覚障がい学級

視力が弱いために黒板の字が見えなかったり、教科書の文章が読みにくかったりする弱視の児童のため、平成29年度から東栄小学校に配置。目と手の供応作用の向上を図った実習や、拡大した資料や補助具を使った見方・書き方の技術向上を図っている。

(4) 肢体不自由学級

肢体不自由のある児童生徒のため、令和元年度に東栄小学校と旭丘小学校に配置し、令和2年度に本地原小学校に設置。自立活動の指導においては、身体の動きの改善を図ることやコミュニケーションの力を育てる指導などを行っている。

3 通級指導教室

通常学級に在籍する発達障がい等特別な支援を必要とする児童に対して、通級による個別の指導を実施している。本市では、6名の指導教員が全小中学校を訪問し通級による指導を行っている。

4 特別支援学級交流事業

平成元年度から特別支援学級担当の教員を中心とした「特別支援学級交流会運営委員会」を設置し、小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒を対象とした歓迎会、運動会、送る会等の当該児童生徒の社会性や自己表現等の力を伸ばす楽しい行事を実施している。

5 肢体不自由児の受け入れ拠点校

平成17年度に東栄小学校、平成22年度に東中学校を肢体不自由児の受け入れ拠点校として学校内の設備の整備を行った。児童生徒が障がいの有無に関わらず、一人ひとりのよさや違いを認め合い、共に生きる学校づくりを進めることで、豊かな心の育成を目指している。

6 医療的ケア支援事業

令和2年度から医療的ケアを必要とする児童生徒に対し、自立の促進、健康の維持・増進及び安全な学習環境の整備を図るために、看護師による医療的ケアを実施している。

就学奨励

1 要保護・準要保護児童生徒援助

経済的な理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に学用品費、給食費等の援助を行っている。

▼年間1人当たりの援助費

補助対象費	区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学用品費等	小学校	1年	11,420円	11,420円	11,420円	11,420円	11,520円
		2～6年	13,650円	13,650円	13,650円	13,650円	13,770円
	中学校	1年	22,320円	22,320円	22,320円	22,320円	22,510円
		2・3年	24,550円	24,550円	24,550円	24,550円	24,760円
校外活動費 (宿泊を伴わない)	小学校		実費(限度額1,550円)	実費(限度額1,570円)	実費(限度額1,570円)	実費(限度額1,570円)	実費(限度額1,580円)
	中学校		実費(限度額2,240円)	実費(限度額2,270円)	実費(限度額2,270円)	実費(限度額2,270円)	実費(限度額2,290円)
校外活動費 (宿泊を伴う)	小学校5年生		実費(限度額3,570円)	実費(限度額3,620円)	実費	実費	実費
	中学校2年生		実費(限度額6,010円)	実費(限度額6,010円)	実費	実費	実費
修学旅行費	小学校6年生		実費	実費	実費	実費	実費
	中学校3年生		実費	実費	実費	実費	実費
新入学学用品費	小学校		20,470円	20,470円	40,600円	40,600円	50,600円
	中学校		23,550円	23,550円	47,400円	47,400円	57,400円
学校給食費	小学校		実費230円×食数	実費230円×食数	実費250円×食数	実費250円×食数	実費250円×食数
	中学校		実費260円×食数	実費260円×食数	実費280円×食数	実費280円×食数	実費280円×食数
医療費	小・中		特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分
通学費	小・中		実費	実費	実費	実費	実費

▼要保護・準要保護児童生徒援助費の推移

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学校	要保護(人)	6	10	6	9	8
	準要保護(人)	450	461	499	463	451
	入学前支給(人)			49	41	49
	支給額(千円)	27,237	27,034	33,633	31,769	31,889
中学校	要保護(人)	9	7	4	9	5
	準要保護(人)	306	297	276	295	304
	入学前支給(人)			98	94	103
	支給額(千円)	26,982	25,078	31,548	30,025	31,625

※中学校入学前支給者は小学校準要保護者に含まれる。

2 特別支援教育就学奨励

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に、保護者の負担能力に応じ上記の要保護・準要保護児童生徒援助の2分の1の額の援助を行っている。

▼特別支援教育就学奨励の推移

区	分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学校	受給者数(人)	41	31	24	31	40
	支給額(千円)	960	770	913	938	1,104
中学校	受給者数(人)	14	14	15	13	16
	支給額(千円)	627	546	613	594	482

3 私立学校修学支援事業補助

私立学校（私立の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び専修学校）に在籍する者の保護者等に対して教育に係る経済的負担の軽減を図り、また教育の機会均等の原則の確保や、併せて私立学校教育の振興に寄与することを目的に補助事業を平成27年度より実施している。

▼私立学校修学支援事業補助金の推移

区	分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小 学 校	児 童 数 (人)	6	3	3	2	4
	支給額(千円)	97	50	50	38	62
中 学 校	生 徒 数 (人)	43	46	49	34	34
	支給額(千円)	624	690	729	521	495
高等学校等	生 徒 数 (人)	503	489	506	504	487
	支給額(千円)	6,640	7,178	7,434	7,412	7,137

※1人年額12,000円～18,000円（5,000円加算あり）

学校保健

1 児童生徒等の健康管理

児童生徒及び教職員の健康保持と健康増進を図る学校保健は、学校教育の円滑な運営の基礎であり、学校における保健教育と保健管理の充実によって達成されるものである。

本市では、児童生徒及び教職員の健康診断の実施、感染症の予防、学校の環境衛生等の専門的事項についての指導と助言を受けるために、各小中学校に内科医、耳鼻科医、眼科医を学校医、歯科医を学校歯科医、薬剤師を学校薬剤師として委嘱している。また、健康診断に係る諸検査については、検査機関に委託し、小学校1・4年生、中学校1年生を対象に実施する心電図検査では、病気の早期発見及び有所見者への指導を行い、健康管理に努めている。

2 医療費等の給付

学校管理下における児童生徒の災害に係る医療費等の給付を目的として、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入しており、掛金（1人当たり935円）については市が全額負担している。

▼災害共済給付制度利用状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
共済掛金	6,941,230円	6,916,300円	6,842,655円	6,710,700円	6,706,590円
件数	963件	800件	695件	734件	653件
給付金	2,161,362円	1,521,251円	1,504,834円	1,315,446円	1,335,264円

いじめ・不登校対策

いじめ問題に対応するため、各小中学校では、校内に「いじめ・不登校対策委員会」を設置し、実態の把握と実情に応じた対応をしている。

教育委員会では、昭和62年度に「いじめに関する手引き」を発刊するとともに、市内の実態把握と各校の情報交換に努めてきた。平成4年度から「人権教育講習会」、平成8年度からは「カウンセリング講習会」を、さらに平成11年度には「いじめ・不登校講演会」と改称し、教員の研修に努めている。平成25年度からは、いじめ、不登校など対人関係に関する問題への対策として、生徒個々の傾向を的確に捉え、適切な指導を行うための基礎資料とするため、中学生を対象に心の発達サポート検査を実施している。平成26年度には、いじめ防止対策推進法の制定に伴い、尾張旭市いじめ防止基本方針を策定し、尾張旭市いじめ問題専門委員会、尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会を設置した。

また、教職員と児童生徒、保護者及び学校と地域の信頼関係をさらに強める手立てや校内指導体制の確立に重点をおくとともに、県教育委員会発行の「小さなサインが見えますか」を始め各種の手引きの活用、教育相談事業、適応指導教室「つくしんぼ」の充実、メンタルフレンドの派遣等を進め、関係機関との連携を密にし、本市児童生徒の「豊かな心の成長」を目指して活動を推し進めている。

1 尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会、尾張旭市いじめ問題専門委員会

平成26年度に尾張旭市いじめ対策連絡協議会等条例を制定し、いじめ問題に関係する行政機関等の連携を図るため、尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会を設置した。また、いじめ問題に関わる調査研究や対策協議、いじめの重大事態が発生した場合の調査を行うための組織として、尾張旭市いじめ問題専門委員会を設置した。

2 いじめ・不登校対策委員会

平成2年度に「登校拒否対策事業実施市町村」の一つとして、愛知県教育委員会から研究指定を受け、以後3年間にわたって不登校の解消を目指し、研究実践を積み重ね、平成5年度に「登校拒否児童生徒対策委員会」を設置した。さらに、全国で「いじめによる自殺」が続発する状況を受け、平成8年度からは「いじめ・不登校対策委員会」に組織を改め、児童生徒が「いじめ」や「不登校」などを克服し、「豊かな人間関係を持つ健全な社会人の育成を促す指導・支援」の充実を図ることを目的とし、対策に取り組んでいる。

3 いじめ・不登校に係る取り組み

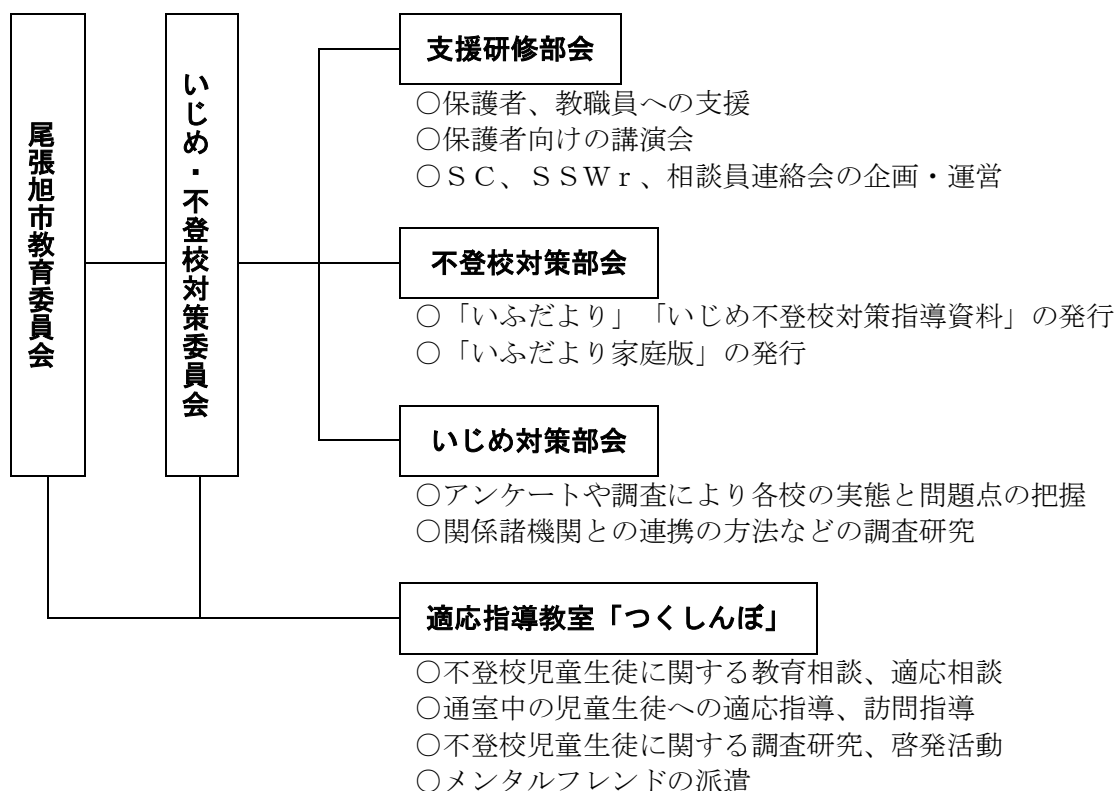
- (1) 実態の把握及び指導についての研究
- (2) 保護者、教職員への啓発及び相談・支援活動
- (3) 指導、支援に役立つ情報の収集及び提供
- (4) いじめ実態アンケートの実施
- (5) 中1ギャップについての調査研究
- (6) 心の発達サポート検査

4 適応指導教室「つくしんぼ」

心理的・情緒的な理由による不登校児童生徒を対象に集団生活への適応を促すため平成10年度に適応指導教室「つくしんぼ」を設置し、学校への復帰を支援している。（平成28年度に中央公民館内へ移転）

- (1) キャンプ、ミニ運動会、調理実習、社会見学、書き初め等可能な限り学校で実施している行事と同様の内容で実施している。
- (2) 乗馬体験、馬や犬等の動物とふれあい（「情操教育事業」、年11回実施）
- (3) 出前授業の実施（教育委員会が委嘱している教科等研究員による出前授業）

▼いじめ・不登校対策委員会等組織図



▼ 不登校児童生徒数の推移

	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	小	中	計	小	中	計	小	中	計	小	中	計	小	中	計
実数 (人)	24	59	83	14	56	70	22	67	89	33	76	109	38	85	123
全児童 生徒に 対する 割合 (%)	0.5	2.4	1.12	0.3	2.3	1.0	0.4	2.8	1.2	0.7	3.3	1.5	0.8	3.6	1.7

※不登校による年間30日以上欠席者数

その他の取り組み

1 中学生海外研修事業（平成5年度から実施）

国際理解教育の一環として、外国の自然・文化に直接触れ、一般家庭でのホームステイを体験することにより、世界の中の日本人としての自覚を深め、国際的視野を身につけることを目的にしている。

令和元年度は、8月7日から8月16日の10日間で、研修事業を実施した。

2 小中学校外国語授業へのALT派遣

小学校「外国語活動」の時間及び、中学校の外国語（英語）の授業にALTを派遣している。担当教員とのTT（ティームティーチング）により、英語でのコミュニケーション能力の向上を目指している。

3 フラワー・ブラボー・コンクール（FBC）

花の栽培を通じ、学校環境の美化意識の向上を図るとともに、児童生徒の豊かな情操教育に資するため、各小中学校において、花壇の整備充実に努めている。

また、フラワー・ブラボー・コンクール愛知県委員会主催による秋花壇のコンクールに参加、尾張旭市教育委員会主催で秋花壇のコンクールを実施している。

4 特色ある学校づくり

児童生徒の生きる力を育み、優れた個性を伸ばす教育を行うために、児童生徒や地域社会の実態を踏まえ、各学校が創意工夫を生かし積極的に「特色ある学校づくり」に取り組んでいる。

▼ 令和元年度 特色ある学校づくり

学 校 名	特 色
旭 小 学 校	「にじの森」「青空広場」を活用した感性の育成
東 栄 小 学 校	違いを認めてともに生きる
渋 川 小 学 校	打ち囃子 —地域の方々との交流を通して、伝統文化に親しむ—
本 地 原 小 学 校	他者と関わりながらよりよく生きる子を育てる教育活動 ～明るく 正しく のびのびと 本地ヶ原の本地っ子～
城 山 小 学 校	地域（町・学校・人・自然・文化）とのふれあいの中で思いやりの心を育む
白 鳳 小 学 校	地域を知り、地域と学び、地域と共に歩む
瑞 鳳 小 学 校	地域とともに歩み、自ら伸びようとする児童の育成 ～地域の「ひと・もの・こと」とつながる活動を通して～
旭 丘 小 学 校	粘り強く・やり遂げ・自己を拓く旭丘の子
三 郷 小 学 校	健康教育
旭 中 学 校	聴く力、考える力、伝える力を高める授業の工夫 ～新学習指導要領と特別な教科道徳の実施に向けて～
東 中 学 校	「自分をつくる」キャリア教育の推進
西 中 学 校	地域社会の一員として自立した、生きる力を育む教育の推進

学校施設の大型工事

施設の老朽化が著しい本市では、学校施設の安全安心を第一優先として位置付け、質的な改善など施設整備における改善を一気に推し進めることができる、大規模改造工事を計画的に実施している。また、学校を取り巻く社会情勢の変化に伴い、空調設備の整備やトイレの洋式化も同時に推し進めている。

▼大規模改造工事一覧

平成23、24年度	本地原小学校
平成25、26年度	城山小学校
平成27、28年度	東栄小学校
平成29、30年度	白鳳小学校
令和元年度	旭中学校

▼空調設備整備一覧

	(普通教室)	(特別教室)
平成29年度	旭中学校 東中学校 西中学校	
平成30年度	旭小学校 渋川小学校 瑞鳳小学校 旭丘小学校 三郷小学校	
令和元年度	東栄小学校 本地原小学校 城山小学校 白鳳小学校	旭中学校

▼トイレ改修（全面）一覧

平成12、13年度	本地原小学校 城山小学校
平成16、17年度	旭中学校
平成21、22年度	東中学校
平成25、26年度	東栄小学校
平成29、30年度	白鳳小学校 旭丘小学校
令和元年度	渋川小学校 旭中学校

児童生徒数・学級数等の状況

(令和2年度)

▼小学校

学 校 名	児童数	学 級 数	左 の う ち 特 別 支 援 学 級 数	教 員	栄 養 職 員 (栄 養 教 諭)	事 務 職 員
	人			人	人	人
旭 小 学 校	435	15	2	21	1	1
東 栄 小 学 校	526	21	5	30		1
渋 川 小 学 校	365	14	2	22		1
本 地 原 小 学 校	600	21	3	31		1
城 山 小 学 校	678	23	2	31		1
白 鳳 小 学 校	667	23	2	33		1
瑞 鳳 小 学 校	413	15	2	24	1	1
旭 丘 小 学 校	598	21	3	28		1
三 郷 小 学 校	521	20	3	28		1
計	4,803	173	24	248	2	9

(産休・育休代替・期限付講師を含む・非常勤講師は含まない)

▼中学校

学 校 名	生徒数	学 級 数	左 の う ち 特 別 支 援 学 級 数	教 員	栄 養 職 員 (栄 養 教 諭)	事 務 職 員
	人			人	人	人
旭 中 学 校	904	28	3	51		2
東 中 学 校	753	23	3	47		2
西 中 学 校	733	23	2	41	1	2
計	2,390	74	8	139	1	6

(産休・育休代替・期限付講師を含む・非常勤講師は含まない)

中学校卒業後の進路

区 分		計	比率(%)
卒 業 者 総 数		人 778	100.0
高 等 学 校	全 日 制 普 通 学 科	367	47.2
	全 日 制 専 門 学 科	131	16.8
	私 立 高 等 学 校	233	29.9
専 修 学 校 、 各 種 学 校		27	3.5
就 職 者 (定 時 制 除 く)		0	0.0
そ の 他		20	2.6

児童生徒数の推移

▼小学校 (各年5月1日現在)

学 校 名		昭和60年 度	平成2年度	平成7年度	平成12年 度	平成17年 度	平成22年 度	平成27年 度	平成28年 度	平成29年 度	平成30年 度	令和元年 度	令和2年度
旭 小 学 校	児童数 (人)	635	505	484	485	491	483	433	436	430	439	422	435
	学級数 (CL)	17	18	15	15	16	17	16	16	16	16	15	15
東 栄 小 学 校	児童数 (人)	696	587	555	573	581	598	542	543	541	510	520	526
	学級数 (CL)	19	18	17	19	21	22	19	21	22	20	22	21
渋 川 小 学 校	児童数 (人)	163	112	136	211	358	493	413	412	401	376	374	365
	学級数 (CL)	9	9	9	8	15	18	15	14	14	14	13	14
本地原小学校	児童数 (人)	836	717	642	619	643	722	704	681	669	641	611	600
	学級数 (CL)	21	21	19	19	20	23	23	22	22	21	20	21
城 山 小 学 校	児童数 (人)	977	802	668	559	584	702	708	710	686	681	691	678
	学級数 (CL)	27	25	19	19	20	22	22	23	23	22	24	23
白 鳳 小 学 校	児童数 (人)	521	496	443	471	599	679	653	666	684	668	681	667
	学級数 (CL)	15	16	13	14	21	23	21	22	22	22	23	23
瑞 鳳 小 学 校	児童数 (人)	741	580	423	440	437	364	416	430	442	424	405	413
	学級数 (CL)	20	17	13	13	15	14	15	15	15	15	15	15
旭 丘 小 学 校	児童数 (人)	714	601	536	498	496	555	559	583	590	607	619	598
	学級数 (CL)	19	19	17	17	16	20	19	20	20	20	21	21
三 郷 小 学 校	児童数 (人)	502	574	695	669	659	578	481	473	504	508	516	521
	学級数 (CL)	14	18	22	21	21	20	17	17	17	17	19	20
合 計	児童数 (人)	5,785	4,974	4,582	4,525	4,848	5,174	4,909	4,934	4,947	4,854	4,839	4,803
	学級数 (CL)	161	161	144	145	165	179	167	170	171	167	172	173

▼中学校 (各年5月1日現在)

学 校 名		昭和60年 度	平成2年度	平成7年度	平成12年 度	平成17年 度	平成22年 度	平成27年 度	平成28年 度	平成29年 度	平成30年 度	令和元年 度	令和2年度
旭 中 学 校	生徒数 (人)	1,486	1,226	939	850	760	781	961	952	928	915	905	904
	学級数 (CL)	35	32	25	23	21	24	28	29	28	28	28	28
東 中 学 校	生徒数 (人)	1,143	937	899	871	831	798	812	758	742	703	752	753
	学級数 (CL)	28	25	25	24	24	25	25	24	24	23	23	23
西 中 学 校	生徒数 (人)	814	706	539	499	551	656	706	722	682	696	690	733
	学級数 (CL)	20	20	17	16	17	20	22	22	20	22	22	23
合 計	生徒数 (人)	3,443	2,869	2,377	2,220	2,142	2,235	2,479	2,432	2,352	2,314	2,347	2,390
	学級数 (CL)	83	77	67	63	62	69	75	75	72	73	73	74

特別支援学級の推移

(各年5月1日現在)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
旭 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－2	2－2	2－3	2－3
	児 童 数 (人)	5	5	4	5	8
東 栄 小 学 校	級 数 - 担 任 数	3－3	4－4	4－4	5－5	5－5
	児 童 数 (人)	11	15	16	15	15
渋 川 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－2	2－2	1－1	2－2
	児 童 数 (人)	6	3	3	2	4
本地原小学校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－2	2－2	2－2	3－3
	児 童 数 (人)	9	6	8	9	7
城 山 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－2	2－2	2－2	2－2
	児 童 数 (人)	9	8	8	9	6
白 鳳 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－2	2－2	2－2	2－2
	児 童 数 (人)	3	5	5	5	5
瑞 鳳 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－3	2－3	2－3	2－2
	児 童 数 (人)	3	5	5	4	8
旭 丘 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－2	2－2	3－3	3－3
	児 童 数 (人)	5	6	7	9	5
三 郷 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－2	3－3	3－3	3－3
	児 童 数 (人)	9	9	14	12	11
旭 中 学 校	級 数 - 担 任 数	3－4	3－3	3－3	3－3	3－3
	生 徒 数 (人)	13	14	15	13	19
東 中 学 校	級 数 - 担 任 数	3－3	3－3	3－3	2－2	3－3
	生 徒 数 (人)	13	16	13	12	17
西 中 学 校	級 数 - 担 任 数	2－2	2－2	2－2	2－2	2－2
	生 徒 数 (人)	6	6	4	4	4
合 計	学 級 数 (CL)	27	28	29	29	32
	児 童 生 徒 数 (人)	92	98	102	99	109
	担 任 数 (人)	28	28	30	31	33

高等学校進学率の推移

卒 業 年	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
卒 業 者 総 数 (人)	841	814	853	766	778
進 学 者 数 (人)	806	770	821	762	774
進 学 率 (%)	95.8	94.6	96.2	99.5	99.5

(通信制を含む)

児童生徒の発育状況

▼ 小学校

区 分		身 長 (cm)				体 重 (kg)			
		男		女		男		女	
		平成30 年度	令和元 年度	平成30 年度	令和元 年度	平成30 年度	令和元 年度	平成30 年度	令和元 年度
1 年	市	115.9	116.5	114.8	115.0	21.2	21.1	20.3	20.6
	県	116.4	116.2	115.3	115.4	21.2	21.2	20.7	20.8
	全国	116.5	116.5	115.6	115.6	21.4	21.4	20.9	20.9
2 年	市	121.9	122.2	120.5	120.7	23.6	23.9	23.0	23.0
	県	122.0	122.5	121.0	121.1	23.7	24.3	22.9	23.2
	全国	122.5	122.6	121.5	121.4	24.1	24.2	23.5	23.5
3 年	市	127.9	127.5	127.0	126.2	26.9	26.6	26.2	26.0
	県	127.6	127.8	127.0	127.1	26.7	27.0	26.1	26.2
	全国	128.1	128.1	127.3	127.3	27.2	27.3	26.4	26.5
4 年	市	133.3	133.2	132.6	132.8	30.1	30.4	28.8	29.5
	県	133.2	133.1	133.4	132.9	29.7	30.2	30.0	29.7
	全国	133.7	133.5	133.4	133.4	30.7	30.7	30.0	30.0
5 年	市	138.2	138.5	139.7	139.3	33.1	33.8	33.4	32.9
	県	138.2	138.4	139.9	140.4	33.2	33.4	33.2	34.4
	全国	138.8	139.0	140.1	140.2	34.1	34.4	34.1	34.2
6 年	市	144.3	143.9	146.2	146.1	36.5	36.9	37.1	37.8
	県	144.9	144.9	145.6	146.4	38.0	38.4	37.5	38.2
	全国	145.2	145.2	146.8	146.6	38.4	38.7	39.1	39.0

▼ 中学校

区 分		身 長 (cm)				体 重 (kg)			
		男		女		男		女	
		平成30 年度	令和元 年度	平成30 年度	令和元 年度	平成30 年度	令和元 年度	平成30 年度	令和元 年度
1 年	市	152.1	151.4	151.6	151.3	42.2	41.8	42.4	41.9
	県	152.3	152.3	151.5	151.3	43.2	43.4	43.2	43.2
	全国	152.7	152.8	151.9	151.9	44.0	44.2	43.7	43.8
2 年	市	158.5	159.7	154.8	154.7	46.0	47.5	45.7	46.5
	県	159.8	159.4	154.6	154.4	48.5	48.5	47.0	46.7
	全国	159.8	160.0	154.9	154.8	48.8	49.2	47.2	47.3
3 年	市	164.8	164.5	156.6	156.8	52.2	51.2	48.6	48.7
	県	165.2	164.8	156.2	156.4	53.5	53.3	49.6	49.6
	全国	165.3	165.4	156.6	156.5	54.0	54.1	49.9	50.1

義務教育施設の状況

▼ 小学校

学 校 名	児 童 数	学 級 数 (特別支援学級を含む)	校 地 面 積			校 舎 面 積		屋内運動場面積	
			建物敷地	運動場	合 計	保有面積	必要面積	保有面積	必要面積
	人		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
旭 小 学 校	435	15	10,920	9,889	20,809	4,270	4,217	646	919
東 栄 小 学 校	526	21	8,494	12,121	20,615	5,299	5,472	605	1,215
渋 川 小 学 校	365	14	12,949	8,438	21,387	4,651	4,049	663	919
本地原小学校	600	21	7,685	7,460	15,145	5,151	5,336	630	1,215
城 山 小 学 校	678	23	6,195	11,402	17,597	5,488	5,682	630	1,215
白 鳳 小 学 校	667	23	7,498	9,194	16,692	5,309	5,682	645	1,215
瑞 鳳 小 学 校	413	15	8,527	10,488	19,015	5,018	4,404	646	919
旭 丘 小 学 校	598	21	9,538	7,979	17,517	4,911	5,504	647	1,215
三 郷 小 学 校	521	20	7,701	10,197	17,898	5,084	4,946	667	1,215
合 計	4,803	173	79,507	87,168	166,675	45,181	45,292	5,779	10,047

▼ 中学校

学 校 名	生 徒 数	学 級 数 (特別支援学級を含む)	校 地 面 積			校 舎 面 積		屋内運動場面積	
			建物敷地	運動場	合 計	保有面積	必要面積	保有面積	必要面積
	人		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
旭 中 学 校	904	28	9,730	20,705	30,435	7,860	7,894	1,494	1,476
東 中 学 校	753	23	9,914	18,498	28,412	7,067	6,858	1,395	1,476
西 中 学 校	733	23	14,325	14,198	28,523	6,296	6,641	1,399	1,476
合 計	2,390	74	33,969	53,401	87,370	21,223	21,393	4,288	4,428

▼ 小学校

学 校 名	普通 教室	特別 教室	特別教室の内訳											その 他
			理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	外国 語	視聴 覚	コンピ ュータ	図書 室	特別 活動	教育 相談	
旭 小 学 校	15	13	1		1	1	2			1	2	4	1	1
東 栄 小 学 校	21	14	1		2	1	2	1		1	1	4	1	1
渋 川 小 学 校	14	12	1		2	1	1			1	1	4	1	1
本地原小学校	20	17	1	1	2	1	1	1		1	2	5	2	1
城 山 小 学 校	23	14	1		1	1	1			1	2	6	1	2
白 鳳 小 学 校	23	12	1	1	1	1	1			1	2	2	2	2
瑞 鳳 小 学 校	15	16	1	1	1	1	2			1	2	6	1	1
旭 丘 小 学 校	20	11	1		1	1	1			1	2	4		2
三 郷 小 学 校	20	13	1	1	2	1	1			1	2	4	1	1
合 計	171	122	9	4	13	9	12	2	0	9	16	39	10	12

▼ 中学校

学 校 名	普通 教室	特別 教室	特 別 教 室 の 内 訳												その 他
			理科	音楽	美術	技術	家庭	外国 語	視聴 覚	コンピ ュータ	図書 室	特別 活動	教育 相談	進路 指導	
旭 中 学 校	28	21	2	2	2	1	2			1	1	5	5		2
東 中 学 校	23	19	3	2	2	2	2			1	1	4	1	1	1
西 中 学 校	23	15	2	2	1	2	2			1	1	1	2	1	
合 計	74	55	7	6	5	5	6			3	3	10	8	2	3

小中学校の通学区域

▼小学校

学 校 名	通 学 区 域
旭 小 学 校	新居町（五反田の一部）、東大道町（曾我廻間、山の内、原田の一部）、西大道町、城前町（上大道の一部）、向町（一丁目、二丁目、三丁目の一部、四丁目の一部）、北原山町（平池浦の一部、六田池の一部、鳴湫の一部、大久保見の一部）、南原山町（南原山、赤土の一部、石原の一部）、西の野町、北山町、稲葉町、下井町（前の上の一部、下井の一部、勿内の一部）、上の山町（間口の一部）
東 栄 小 学 校	大字新居（字海老蔓の一部、字柏井）、旭台、柏井町（弥栄、公園通の一部）、東栄町、根の鼻町、東大久手町（二丁目、三丁目、四丁目）、三郷町（栄、陶栄の一部、角田の一部）、北原山町（大久保見の一部）、南原山町（赤土の一部）
渋 川 小 学 校	庄中町、渋川町、東印場町、東名西町（二丁目）
本地原小学校	緑町、南新町、南栄町、晴丘町、長坂町、上の山町（山畑、間口の一部）、北本地ヶ原町、南本地ヶ原町、東本地ヶ原町
城 山 小 学 校	大字新居（字海老蔓の一部）、平子町、城山町、新居町（西浦、山の田、木の本、明才切の一部、寺田の一部、上の田の一部、今池下の一部、五反田の一部）、城前町（城前、茅池、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目）、向町（三丁目の一部、四丁目の一部）、旭前町（北の一部、新田洞、一丁目、二丁目、五丁目）
白 鳳 小 学 校	桜ヶ丘町、白鳳町、霞ヶ丘町、印場元町、旭前町（北の一部、三丁目、四丁目、六丁目）、東名西町（一丁目）、平子ヶ丘町
瑞 鳳 小 学 校	東山町、西山町、庄南町、大塚町、吉岡町
旭 丘 小 学 校	大字新居（字海老蔓の一部）、旭ヶ丘町、大久手町、新居町（下切戸、諏訪南、今池下の一部、寺田の一部、上の田の一部、明才切の一部）、柏井町（公園通の一部）、東大久手町（一丁目）、北原山町（陀摩屋敷、鳴湫の一部、平池浦の一部、六田池の一部）、東大道町（原田の一部）
三 郷 小 学 校	三郷町（中井田、陶栄の一部、富丘、角田の一部）、東三郷町、南原山町（赤土の一部、石原の一部）、井田町、瀬戸川町、狩宿町、狩宿新町、下井町（前の上の一部、下井の一部、勿内の一部）

▼中学校

学 校 名	通 学 区 域
旭 中 学 校	大字新居（字海老蔓の一部）、旭ヶ丘町（山の手、濁池）、新居町、東大道町（原田、山の内、曾我廻間の一部）、西大道町、向町、北原山町（六田池の一部）、西の野町、稲葉町（一丁目、二丁目、三丁目、四丁目の一部）、平子町、城山町、城前町、旭前町（北の一部、新田洞、一丁目、二丁目、五丁目）、緑町、長坂町、上の山町、南新町、南栄町、晴丘町、北本地ヶ原町、南本地ヶ原町、東本地ヶ原町
東 中 学 校	大字新居（字海老蔓の一部、字柏井）、旭台、柏井町、旭ヶ丘町（森、旭ヶ丘、長洞）、大久手町、東大久手町、東栄町、根の鼻町、三郷町、東三郷町、井田町、瀬戸川町、狩宿町、狩宿新町、北原山町（鳴湫、大久保見、陀摩屋敷、平池浦、六田池の一部）、東大道町（曾我廻間の一部）、南原山町、北山町、下井町、稲葉町（四丁目の一部、五丁目）
西 中 学 校	旭前町（西新田、北の一部、三丁目、四丁目、六丁目）、桜ヶ丘町、白鳳町、霞ヶ丘町、印場元町、東名西町、庄中町、渋川町、東印場町、東山町、西山町、庄南町、大塚町、吉岡町、平子ヶ丘町

尾張旭市立小学校・中学校

(令和2年度)

	旭小学校 尾張旭市西の野町五丁目1番地 校長……浅野謙一 教職員数……26名 学級数……15(特2) 児童数……435名 開校年月…明治6年9月 電話 0561-53-2035
	東栄小学校 尾張旭市東栄町三丁目5番地1 校長……村上洋 教職員数……31名 学級数……21(特5) 児童数……526名 開校年月…昭和27年4月 電話 0561-53-2926
	渋川小学校 尾張旭市渋川町一丁目5番地8 校長……伊藤彰浩 教職員数……22名 学級数……14(特2) 児童数……365名 開校年月…明治6年8月 電話 0561-53-2044
	本地原小学校 尾張旭市南新町中畑252番地 校長……長谷川環 教職員数……33名 学級数……21(特3) 児童数……600名 開校年月…昭和29年1月 電話 0561-53-2702
	城山小学校 尾張旭市城山町城山13番地1 校長……大澤禎一 教職員数……33名 学級数……23(特2) 児童数……678名 開校年月…昭和45年4月 電話 0561-53-5020
	白鳳小学校 尾張旭市白鳳町一丁目12番地 校長……加藤奈保樹 教職員数……32名 学級数……23(特2) 児童数……667名 開校年月…昭和47年4月 電話 0561-53-5700

	瑞鳳小学校	尾張旭市大塚町二丁目 10 番地 1	校 長……堀 江 志 衣	教職員数……25 名	学級数……15 (特2)	開校年月…昭和 53 年 4 月	電話 052-773-2391
	旭丘小学校	尾張旭市大久手町上切戸 117 番地 1	校 長……速 水 一 美	教職員数……30 名	学級数……21 (特3)	開校年月…昭和 54 年 4 月	電話 0561-54-3066
	三郷小学校	尾張旭市瀬戸川町一丁目 122 番地	校 長……井 田 寿	教職員数……29 名	学級数……20 (特3)	開校年月…昭和 57 年 4 月	電話 0561-54-8777
	旭中学校	尾張旭市向町二丁目 4 番地 2	校 長……松 本 浩 一	教職員数……53 名	学級数……28 (特3)	開校年月…昭和 22 年 4 月	電話 0561-53-2910
	東中学校	尾張旭市下井町前の上 1602 番地	校 長……水 野 茂	教職員数……44 名	学級数……23 (特3)	開校年月…昭和 51 年 4 月	電話 0561-54-6511
	西中学校	尾張旭市洪川町三丁目 2 番地 9	校 長……前 野 浩 司	教職員数……46 名	学級数……23 (特2)	開校年月…昭和 55 年 4 月	電話 0561-54-1191

学 校 給 食

学校給食の目標

- (1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- (4) 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- (5) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- (6) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

給食実施の状況

▼調理施設

内 容	学校給食センター
所 在 地	尾張旭市旭前町新田洞 5 0 0 5 番地 6
開 設 年 月 日	平成 2 2 年 9 月 1 日
規 模 ・ 構 造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 2 階建 延床面積 5, 2 9 6 . 4 7 m ² 敷地面積 5, 7 1 2 . 5 3 m ²
運 営 方 式	ドライシステム方式
調 理 能 力	8, 0 0 0 食／日
調 理 業 務 等	民間委託

▼食育学習施設

食育指導室 A ・ B、食育実習室、見学者通路、展示ホール

▼年間給食実施回数

年度 区分	令和元年度 実 施 回 数	令和 2 年 度 実施予定回数
小 学 校	1 7 4 回	1 7 6 回
中 学 校	1 7 3 回	1 7 4 回

*新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による学校休業に伴い、令和 2 年 3 月から 5 月まで、学校給食を中止した。

▼学校別調理食数（児童生徒職員数）

平成31年4月1日現在

小 学 校 別		中 学 校 別	
旭 小 学 校	4 6 2食	旭 中 学 校	9 5 7食
東 栄 小 学 校	5 5 7食	東 中 学 校	7 9 7食
渋 川 小 学 校	3 8 7食	西 中 学 校	7 7 9食
本 地 原 小 学 校	6 3 6食		
城 山 小 学 校	7 1 1食		
白 鳳 小 学 校	6 9 9食		
瑞 鳳 小 学 校	4 3 8食		
旭 丘 小 学 校	6 2 8食		
三 郷 小 学 校	5 5 0食		
小学校計	5, 0 6 8食	中学校計	2, 5 3 3食
合 計		7, 6 0 1食	

▼給食費の推移（1人1食当たり）

期間	平成4年1月 ～ 平成9年3月	平成9年4月 ～ 平成11年3月	平成11年4月 ～ 平成23年3月	平成23年4月 ～ 平成29年3月	平成29年4月 ～ ～
区分					
小学校	1 9 0円	1 9 4円	2 1 0円	2 3 0円	2 5 0円
中学校	2 2 0円	2 2 4円	2 4 0円	2 6 0円	2 8 0円

給食の内容

▼主食及び牛乳の提供回数

内 容		回 数
主 食	パ ン	週 1 回
	米 飯	週 3.5 回
	麵 類	週 0.5 回
飲 用	牛 乳	週 5 回

▼アレルギー対応給食数

令和元年度 年間4, 2 1 3食（1日平均2 4食）

▼小学生又は中学生1人1回当たりの学校給食摂取基準

小 学 生

区 分	令 和 元 年 度 の 摂 取 栄 養 量	基 準 量	充 足 率
エネルギー（kcal）	6 3 4	6 5 0	9 8 %
たんぱく質（g）	2 5.2	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%	学校給食による摂取エネルギー全体の15.9%
脂 質（g）	1 9.9	学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%	学校給食による摂取エネルギー全体の28.2%
カルシウム（mg）	3 4 0	3 5 0	9 7 %
鉄（mg）	2.8	3.0	9 3 %

レチノール当量 (μg) (マイクログラム)	240	200	120%
ビタミンB1 (mg)	0.55	0.40	138%
ビタミンB2 (mg)	0.54	0.40	135%
ビタミンC (mg)	27	20	135%
食物繊維 (g)	4.4	5.0	88%
食塩相当量 (g)	2.1	2.0未満	105%

中 学 生

区 分	令和元年度の 摂 取 栄 養 量	基 準 量	充 足 率
エネルギー (kcal)	786	830	95%
たんぱく質 (g)	30.3	学校給食による摂取エネルギー全体の13~20%	学校給食による摂取エネルギー全体の15.4%
脂 質 (g)	23.2	学校給食による摂取エネルギー全体の25~30%	学校給食による摂取エネルギー全体の26.6%
カルシウム (mg)	365	450	81%
鉄 (mg)	3.4	4.0	85%
レチノール当量 (μg) (マイクログラム)	285	300	95%
ビタミンB1 (mg)	0.70	0.50	140%
ビタミンB2 (mg)	0.59	0.60	98%
ビタミンC (mg)	32	30	107%
食物繊維 (g)	5.8	6.5	89%
食塩相当量 (g)	2.7	2.5未満	108%

主な食育事業

事 業	会 場	実 施 日	参加人数
食育推進講演会	給食センター	11月21日 2月14日	24人 30人
食の専門家による講演会	旭中学校	11月22日	全学年 894人
ふれあい給食	三郷小学校 旭小学校	6月18日 1月27日	3年生 102人 2年生 63人
夏休み！親子で探検 給食センターわくわくツアー	給食センター	8月 2日 8月 3日	10組 36人 10組 32人
親子料理教室（和食）	給食センター	5月18日	8組 20人
親子料理教室（クリスマス）	給食センター	12月14日	10組 28人
皆が食べられる学校給食の日	全学校	8月を除く毎月2回	—
給食献立募集	応募 284点 採用 11点 (令和2年1月から順次提供)		

社 会 教 育

生涯学習の推進

- 1 生涯学習案内冊子「ハート to は〜と 生涯学習講座一覧」**
各種の講座、教室等を一覧にした冊子を作成し、公共施設、ホームページで掲載している。
・令和2年4月発行：講座数 402講座
- 2 生涯学習教授リスト**
生涯学習指導者等に関するリストを作成し、公共施設、ホームページで掲載している。
・令和元年9月発行：登録人数 219人
- 3 生涯学習団体リスト**
市内の生涯学習団体に関するリストを作成し、公共施設、ホームページで掲載している。
・令和元年9月発行：登録団体数 81団体
- 4 生涯学習フェスティバル**
学習の成果を発表する場や生涯学習の啓発のため、生涯学習フェスティバルを開催している。
・令和元年度（第25回） 21事業 約1,800人参加
・一部の事業は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

青少年教育

- 1 親子ふれあい事業**
親子等と一緒に豊かな体験をし、ふれあいを深めるための事業を実施している。

令和元年度実績			
(1) 親子ふれあい教室	親子参加の体験教室	5教室	448人
(2) 親子天体教室	親子参加の天体観測教室	7回開催	180人
(3) 夜間天体観望会	夜間の天体観望会	30回開催	1,719人
(4) その他の天体事業	天体に関する親子教室	7回開催	355人

・一部の事業は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。
- 2 新成人の集い**
将来の担い手として社会の一員となったことを祝う「新成人の集い」を開催している。
・令和2年1月12日（日） 対象者912人／参加者728人（参加率78.9%）
- 3 地域の教育力推進事業費補助金**
地域教育力の向上を図る活動を行う団体に対して、補助金を交付し活動を支援する。
・令和元年度交付団体 7団体 638人参加

成人教育

1 民踊講習会

地域の民踊（盆踊り）を盛り上げるため、毎年1回講習会を実施している。

- ・令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

2 家庭教育学級

各小学校で学級を開設し、学級生の自主的な企画を通じ、学習や仲間づくりを行っている。

- ・令和2年度前期は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

3 思春期家庭教育学級

思春期の特徴や心と身体の変化を学ぶ講座を開催している。

- ・令和2年度前期は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

社会教育団体の育成

社会教育団体の活動に必要な援助を行い、社会教育団体の活動を推進している。

令和2年度社会教育団体補助金の交付

- ・尾張旭市地域婦人団体連絡協議会

文化振興

1 市民文化祭の開催

誰もが参加できる毎年恒例の文化芸術事業として、市民文化祭を尾張旭市文化協会に委託して開催し、市民の文化芸術に対する関心を高め、その活動を支援するとともに、作品発表や鑑賞の機会を提供することにより地域文化を振興した。

▼令和元年度開催状況

事業名	第45回市民展	第39回 市民芸能発表大会	第37回 市民音楽祭
期日	11月3日（祝） ～11月10日（日）	11月3日（祝）	11月10日（日）
会場	スカイワードあさひ	文化会館ホール	文化会館ホール
応募者数 出演者数	出展総数：382点 ・絵画 131点 ・書道 73点 ・写真 58点 ・彫塑工芸 55点 ・文芸 65点 入場者数：約6,580人	出演団体：21団体 出演者数：451人 種目： 舞踊、詩吟、民謡、琴、 大正琴、和太鼓、三味線、 民踊、ダンス等 入場者数：約1,200人	出演団体：24団体 出演者数：約667人 出演学校： 東栄小、三郷小、旭中、 旭野高等学校 種目：合唱、器楽等 入場者数：約1,700人

2 文化振興計画の推進事業

文化振興基金の積み立てと繰出しの実施

平成21年度より基金の募集を開始し、令和元年度も引き続き基金の募集を推進した。

令和元年度基金積立額：620,244円

（内訳 指定寄附金129,330円、市積立金490,000円、利子914円）

繰出金：500,000円（どうだん亭離れ屋根等補修修繕事業）

基金総額：9,216,322円（令和2年3月末現在）

3 文化協会への事業委託

尾張旭市における文化の総括的団体である尾張旭市文化協会に対して、市民に参加又は鑑賞の機会を提供するため、講座の開催、展示会、発表会等の事業を委託した。

（令和2年4月末現在 11部会73団体）

4 市長賞の交付

（1団体）

開催日	主催者	催物名	交付内容
8月18日（日） ～19日（月）	瀬戸音楽協会	第31回愛知県尾東音楽コンクール	賞状1枚 副賞1個

5 激励費の交付

（8名）

開催日	大会等名	会場	参加者	備考
平成30年 10月13日（土） ～平成31年1月 14日（祝）	第20回ショパン国際 ピアノコンクール inASIA	昭和音楽大学	櫻井 綾乃	旭野高校 3年生

平成 31 年 2 月 2 日（土）	第 9 回日本バッハコンクール	王子ホール	櫻井 健人	西中 3 年生
令和元年 7 月 27 日（土） ～28 日（日）	第 43 回全国高等学校 総合文化祭佐賀大会	佐賀県立鹿島高 等学校	堀田 晃子	旭野高校 3 年生
令和元年 8 月 25 日（日）	第 16 回 WRO2019Japan 決勝大 会	関西学院大学上 ヶ原キャンパス 総合体育館	寺尾 拓真	西中 2 年生
令和元年 11 月 30 日（土）	第 73 回全日本学生音 楽コンクール	横浜みなとみら い小ホール	公文 美良	東中 3 年生
令和元年 12 月 16 日（月）	日本クラシック音楽 コンクール	大泉学園ゆめり あホール	古宮 幹康	一般
令和元年 11 月 23 日（土） ～24 日（日）	第 8 回日本学校合奏 コンクール グラン ドコンテスト	千葉県文化会館 大ホール	倉岡 心愛	聖霊中 学・高校
			長谷川 加奈	

6 伝統文化親子教室の支援 (4 団体)

教室名	分野	実施団体	参加者
伝統文化旭親子いけばな体験教室	華道	伝統文化旭親子いけばな 体験教室	20 人
尾張旭どうだん亭茶道親子教室	茶道	尾張旭どうだん亭茶道親子教室	41 人
「おどりで遊ぼう」 日本舞踊尾張旭教室	日本舞踊	あさひ乃会	17 人
検藤流棒の手親子教室	祭り行事	検藤流棒の手保存会	30 人

文化財保護

市内に残る文化財の保護及びその活用を図るとともに、市民の文化財愛護意識の高揚を図った。

1 歴史教育

各種講座等の開催

講座名	開催日	開催内容	参加者 (延べ)
史跡めぐり	6月8日（土）、6月 13日（木）、8月6 日（火）、11月7日 （木）、11月21日 （木）	市内の史跡や文化財等を広く市民に紹介し、知識を深めてもらうため、ボランティアグループふるさとガイド旭による史跡めぐりを開催した。また、小学生向け史跡めぐりを開催し、児童が文化財に理解を深める機会を提供した。	118人
郷土の歴史講座	12月19日（木）、 12月24日（火）	郷土の歴史や文化財等について学ぶ機会を提供し、郷土への愛着や知識を深めてもらうため講座を開催した。	49人
新春ふるさとカルタ会	1月19日（日）	ふるさとガイド旭の監修により作成した尾張旭ふるさとカルタを使用し、新春かるた会を開催した。	51人

2 無形民俗文化財

(1) 無形民俗文化財の保存育成

無形民俗文化財の保存育成を各保存会に委託した。

- ア 尾張旭市の棒の手（県指定）……………尾張旭市棒の手保存会 （5 流派）
- イ 尾張旭市の打はやし（市指定）……………尾張旭市打はやし保存会（3 地区）
- ウ ざい踊り（市指定）……………尾張旭市ざい踊保存会 （2 団体）
- エ 尾張旭市の馬の塔（市指定）……………尾張旭市馬の塔保存会 （4 地区）

(2) 後継者の育成

令和元年度報償品支給者数 （図書カード 3,000 円分） （単位：人）

保存会	中学生	高校生	大学生	一般	計
棒の手保存会	57 (14)	26 (2)	20 (△4)	—	103 (12)
打はやし保存会	7 (△1)	5 (△5)	7 (5)	—	19 (△1)
ざい踊保存会	5 (△1)	1 (1)	1 (—)	—	7 (—)
馬の塔保存会	—	—	—	15 (2)	15 (2)
計	69 (12)	32 (△2)	28 (1)	15 (2)	144 (13)

※（）内は前年度からの増減数 （前年度 131 人）

(3) 無形民俗文化財の発表・披露

ア 第70回全国植樹祭

開催日：令和元年6月2日（日）

開催場所：愛知県森林公園

参加団体：尾張旭市棒の手保存会（無二流・東軍流・直師夢想東軍流）

参加者数：23 人

開催内容：全国植樹祭おもてなし広場ステージにおいて、尾張旭の伝統芸能を PR するため各流派の演技を披露した。

イ 第70回全国植樹祭サテライト会場

開催日：令和元年6月2日（日）

開催場所：渋川福祉センター

参加団体：尾張旭市打はやし保存会（庄中地区・井田地区）

尾張旭市ざい踊保存会（鳳采会・みさと会）

参加者数：約 60 人

開催内容：全国植樹祭サテライト会場において、尾張旭の伝統芸能を PR するため各地区の演技を披露した。

(4) 無形民俗文化財の紹介

ア 出張企画展

無形民俗文化財がもっとも活躍する秋まつり前に、より多くの方に活動を知っていただくため、出張企画展を開催した。

開催日：令和元年9月24日（火）～10月11日（金）

開催場所：市役所ロビー

開催内容：県・市指定無形民俗文化財の紹介及び秋まつり見学情報

3 有形文化財

市内に遺る史跡・有形文化財等の整備及び市内史跡等の案内板等を修繕した。また、歴史民俗フロア以外の場所でも尾張旭の歴史や文化を紹介する出張企画展を開催した。

- (1) 史跡・文化財等の整備
長坂遺跡、印場大塚古墳、長池自生地等の除草、清掃、樹木の剪定
- (2) 歴史民俗フロア
(常設展示)
ア 尾張旭市の埋蔵文化財
イ 尾張旭市の無形民俗文化財
(企画展示)
ウ 民具企画展示コーナー
- (3) 史跡等案内板等の修繕
井田城跡史跡看板修繕、印場大塚古墳史跡名案内板修繕

4 尾張旭市の指定・登録文化財

市内に遺る貴重な文化財を保護し後世に伝えるため、重要なものを市の指定文化財に指定している。また、国の登録文化財である「どうだん亭（旧浅井家住宅離れ）」の保存と活用を図った。

文化財の指定・登録

▼指定文化財一覧

指定区分	指定番号	種別	名称	員数	所在地	指定年月日	所有者又は保持団体
県指定	23号	無形民俗	尾張旭市の棒の手	1団体	—	昭和33年 3月29日	尾張旭市 棒の手保存会
指定区分	指定番号	種別	名称	員数	所在地	指定年月日	所有者又は保持団体
市指定	1号	有形 (彫刻)	木造聖観世音菩薩立像	1体	渋川町三丁目 8番地2	昭和56年 8月1日	庄中保存会
〃	2号	〃	円空仏	5体	城山町長池下 4517番地1	〃	尾張旭市
〃	3号	史跡	印場大塚古墳	1基	大塚町一丁目 13番地4	〃	尾張旭市
〃	4号	無形民俗	尾張旭市の打ちはやし	1団体	—	昭和58年 3月1日	尾張旭市 打はやし保存会
〃	5号	〃	ざい踊り	1団体	—	〃	尾張旭市 ざい踊保存会
〃	6号	有形 (工芸品)	井田八幡神社の 陶製狛犬	3対	井田町一丁目 218番地	〃	八幡神社
〃	7号	有形 (建造物)	良福寺山門	1棟	印場元町一丁目 15番地19	昭和61年 2月10日	良福寺
〃	8号	有形 (古文書)	織田信雄書状	1通	〃	〃	〃
〃	9号	有形民俗	狩宿郷倉	1棟	狩宿町三丁目 205番地	平成4年 5月1日	尾張旭市
〃	10号	無形民俗	尾張旭市の馬の塔	1団体	—	平成12年 4月1日	尾張旭市 馬の塔保存会
〃	11号	天然記念物	長池のマメナシ・ アイナシ自生地	1,037 m ²	城山町長池下 4523番地1	平成15年 10月1日	尾張旭市
〃	12号	天然記念物	吉賀池湿地	3,636 m ²	旭ヶ丘町濁池 1150番地	〃	尾張旭市

〃	13号	有形 (工芸品)	狩宿白山神社の 陶製狛犬	1対	狩宿町三丁目 205番地	平成19年 4月1日	狩宿白山神社
---	-----	-------------	-----------------	----	-----------------	---------------	--------

▼登録文化財一覧

登録 区分	登録 番号	種 別	名 称	員 数	所在地	登録年月日	所有者又は 保持団体
国登録	23- 0133	有形 (建造物)	旭サナック本館 (旧旭兵器製造本社事務棟)	1棟	旭前町新田洞 5050番地	平成16年 6月9日	旭サナック 株式会社
国登録	23- 0303	有形 (建造物)	どうだん亭 (旧浅井家住宅離れ)	1棟	霞ヶ丘町南 298他	平成20年 5月7日	尾張旭市

5 文化財関係資料の収集整理と書籍の販売・活用

尾張旭市誌をはじめとして、市内遺跡の発掘調査報告書、民俗資料などを収集整理し、書籍として発刊販売している。

社会教育施設等

どうだん亭

日本庭園を有する家屋を教育文化施設として貸し出し、市民等の文化活動の充実を図った。平成20年5月7日、国登録有形文化財に登録された。

▼施設概要

所在地	尾張旭市霞ヶ丘町南298番地
敷地面積	2,417.17㎡
築造構造	木造瓦葺2階建て2棟
延床面積	277.01㎡（うち母屋：198.85㎡ 離れ：78.16㎡）

▼利用状況

区分	市内		市外		計	
	利用数	利用人数	利用数	利用人数	利用数計	利用人数計
平成29年度	275件	2,170人	181件	880人	456件	3,050人
平成30年度	314件	2,595人	215件	785人	529件	3,380人
令和元年度	277件	2,222人	206件	683人	483件	2,905人

※ 令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策のため3月4日から31日の利用を中止した。

▼一般公開入場者数

区分	春の一般公開		秋の一般公開		計	
	公開期間	入場者数	公開期間	入場者数	公開期間計	入場者数計
平成29年度	9日間	1,007人	9日間	2,598人	18日間	3,605人
平成30年度	—	—	—	—	—	—
令和元年度	9日間	1,345人	9日間	2,700人	18日間	4,045人

※ 平成30年度は市道霞ヶ丘線工事に伴い、臨時駐車場の確保ができず近隣住民の方々に迷惑をかけ、工事車両等も多く来場者の安全確保が難しいため、一般公開は中止した。

文化会館

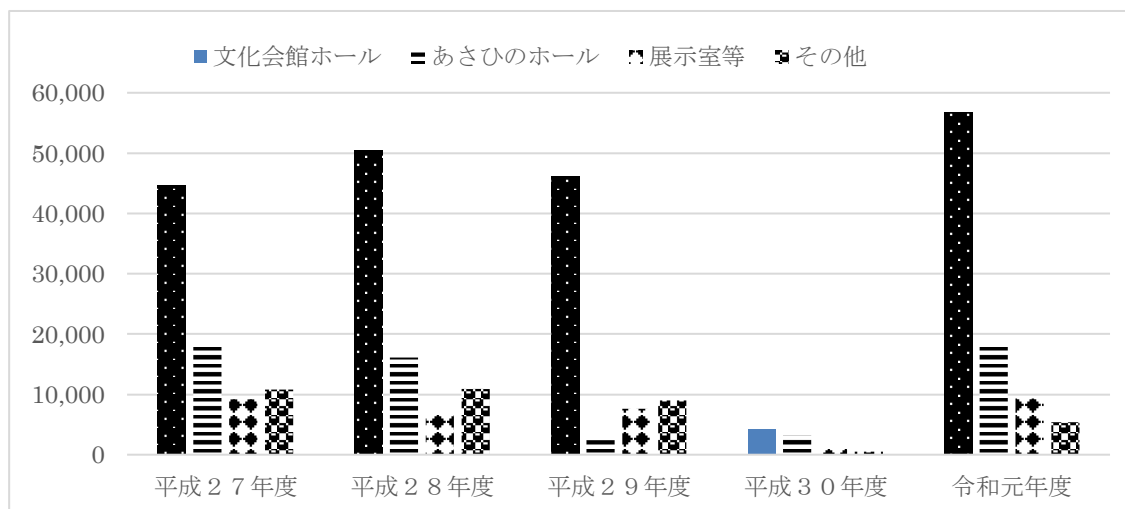
市民に文化に接する機会と場所を提供し、知識と教養を高めるための施設として、また、文化情報発信の施設として充実を図った。なお、施設の管理は、平成19年度から指定管理者が行っている。

施設は、オーケストラ演奏、ピアノ発表会などの音楽、舞踊、演劇、映画、講演会などのできる大小2つのホールのほか、絵画、書、写真、工芸品等が展示できる施設があり、年間を通じて市民の文化・芸術活動の拠点となっている。

1 施設の概要

名 称	尾張旭市文化会館
所 在 地	尾張旭市東大道町山の内2410番地11
開 設 日	昭和56年10月1日
構 造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 4階建
面 積	(延) 5,857.70㎡
施 設	文化会館ホール（固定イス 903席、専用スペース3席）楽屋 4室 あさひのホール（固定イス 289席、専用スペース4席）楽屋 2室 展示室、展示ギャラリー、展示ロビー 練習室 3室 研修室 2室

2 文化会館入場者の推移



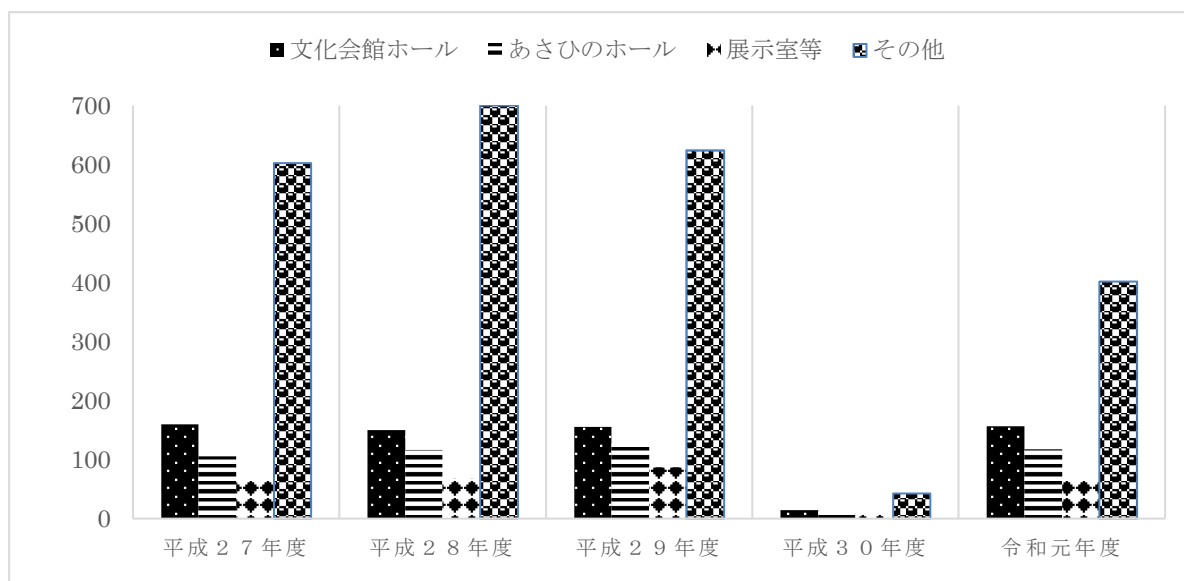
(単位 人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
文化会館ホール	44,602	50,427	46,042	4,190	56,786
あさひのホール	18,094	16,128	2,442	3,111	17,879
展 示 室 等	9,178	6,880	7,647	1,084	9,268
そ の 他	10,826	10,952	8,966	535	5,369
合 計	82,700	84,387	87,097	8,920	89,302

※文化会館改修工事に伴い、平成30年度は5月1日から3月31日まで休館した。

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、3月4日から31日まで利用を中止した。

3 文化会館使用件数の推移



(単位 件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
文化会館ホール	160	150	155	14	157
あさひのホール	106	116	127	12	117
展示室等	66	67	87	9	66
その他	602	700	624	43	402
合計	934	1,033	993	78	742

※文化会館改修工事に伴い、平成30年度は5月1日から3月31日まで休館した。

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、3月4日から31日まで利用を中止した。

4 自主文化事業

事業名	公演回数	年月日	曜日	入場料	入場者数	主な演目等
①文化会館探検ツアー	2	H31.4.7, 29	日・月(祝)	無料	2,871	施設内を自由に見学していただくツアー
②リニューアルイベント フォーティーエイトフェスティバル	1	H31.4.29	月(祝)	無料	3,500	文化協会各団体、旭野高校音楽部、市民合唱団、児童合唱団による発表、地元アーティスト「陽影月」演奏、ヨガ体験、版画体験、琴の演奏、マルシェなど
③芸術展	5	H31.4 ~ R1.2		無料	3,678	地元作家の作品展示 絵画、写真、彫刻・工芸など
④ゆるゆるヨガ教室 (1ターム6回)	19	R1.5 ~ R2.2	水	講座参加 3,600円 (6回分)	253	ヨガ体験講座

⑤水野アー氏 版画展とワークショップ	1	R1.6.5 ～R1.6.9	水～日	無料	577	地元作家の版画展示、版画体験
⑥吹奏楽応援事業	4	R1.6 ～R2.1	火・土 ・日	無料	336	市内 3 中学校と旭野高校の吹奏楽部にホールで練習の機会を提供
⑦ホワイエ・ロビーコンサート①	1	R1.6.21	金	無料	230	出演：ミュージカル女優 田村麻里子
⑧ピアノを弾こう事業	18	R1.8	火～日	無料	39	ロビーにて自由にピアノを演奏していただいた。
⑨映画体感上映会	2	R1.8.24	土	1,000 円	1,105	ボヘミアンラプソディー
⑩アウトリーチ事業	1	R1.9.7	土	無料	—	トランペット奏者による小学校音楽部での演奏講座。三郷小学校で開催
⑪文化協会 40 周年記念事業共催	1	R1.9.29	日	無料	1,553	鍵盤ハーモニカ奏者吉田絵奈演奏、呈茶会など
⑫ホワイエ・ロビーコンサート②	1	R1.12.22	日	無料	307	ピアノを弾こう事業の優秀者 6 人による演奏
⑬第 14 回ニューイヤーコンサート	1	R2.1.18	土	大人 1,000 円 高校生以下 800 円	695	尾張旭市民合唱団
⑭ライブ尾張旭フォーティエイト	/	R2.3 .8	日	500 円	/	避難訓練コンサート 新型コロナウイルス感染対策により中止
⑮紅茶のまち応援事業	1	R2.3	火～日	無料	—	紅茶のまち尾張旭のパネル展示など。新型コロナ感染症対策のため市役所で実施
合計 15 事業					15,144	

公民館

市民が気軽に利用できる学習の場、ふれあいの場として、中央公民館と8つの地区公民館（1小学校区に1公民館）が設置されている。

公民館は、市民の生涯学習の拠点として、多様な学習意欲に応えるため、講座の開設や公民館まつりなどの各種事業の実施、公民館を主な活動場所とする自主活動団体の援助などを行い、教養の向上や生活文化の発展など、地域住民のために大きな役割を果たしている。

▼公民館概要（令和元年度）

館 名	開設年月日	主 な 施 設 概 要
中 央 公 民 館	昭和59年 9月1日	東大道町山の内2410番地2 鉄筋コンクリート造 3階建 4,518㎡ 1階 会議室（3室）、展示ロビー 2階 和室、工作室、実習室、音楽室（2室）、軽運動室（2室）、 会議室（3室） 3階 会議室（6室）、音楽室（3室）
瑞 鳳 公 民 館	昭和54年 4月1日	大塚町二丁目10番地2 鉄筋コンクリート造 2階建 544㎡ 集会室（2室）、会議室（4室）、実習室
三 郷 公 民 館	昭和56年 4月1日	井田町三丁目163番地 鉄筋コンクリート造 2階建 513㎡ 会議室（4室）、料理室
藤 池 公 民 館	昭和57年 4月1日	東栄町一丁目4番地7 鉄筋コンクリート造 2階建 519㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
平 子 公 民 館	昭和58年 4月1日	平子町中通219番地2 鉄筋コンクリート造 2階建 558㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
本地原公民館	昭和58年 4月1日	緑町緑ヶ丘100番地10 鉄筋コンクリート造 2階建 536㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
白 鳳 公 民 館	昭和62年 4月7日	白鳳町二丁目20番地 鉄筋コンクリート造 2階建 590㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
旭 丘 公 民 館	昭和63年 4月11日	大久手町上切戸70番地 鉄筋コンクリート造 2階建 580㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
渋 川 公 民 館	平成8年 4月1日	渋川町一丁目6番地1 鉄筋コンクリート造 2階建 816㎡ 研修室、実習室、集会室（2室）、和室、工作室
コミュニティー宮浦会館 （公民館類似施設）	昭和55年 4月1日	稲葉町四丁目75番地 鉄筋コンクリート造 2階建 527㎡ 会議室、研修室、生活改善室、和室（2室）

各種講座

1 市民塾（あさびーなび）

市民が講師となって、自らの学習成果を生かし、それぞれの知識、教養、特技を市民の学習に役立てている。

令和元年度 講座数 40 講座・受講者 487 人

2 地域ふれあい講座

各地区公民館等で、地域住民を対象とした特色ある講座を独自に計画し、開催している。

令和元年度 講座数 40 講座・受講者 556 人

3 外国語講座

外国人講師を含む専門講師により、英語の講座を開催している。（選任講師）

令和元年度 講座数 4 講座・受講者 66 人

4 企画講座

市民塾で人気のあったものや市民の関心のある講座を開催している。（選任講師）

令和元年度 講座数 4 講座・受講者 93 人

5 パソコン講座

パソコンにまだ触れたこともない人から、スキルアップを目指している人までを対象に、幅広く、いろいろな講座を開催している。（委託業者派遣講師）

令和元年度 講座数 5 講座・受講者 48 人

6 成人大学講座

成人を対象として、主に大学教授を講師に迎え、一般教養、専門知識をより深めることを目的に開催している。

令和元年度 講座数 6 講座・受講者 157 人

7 高齢者教室（長寿学園）

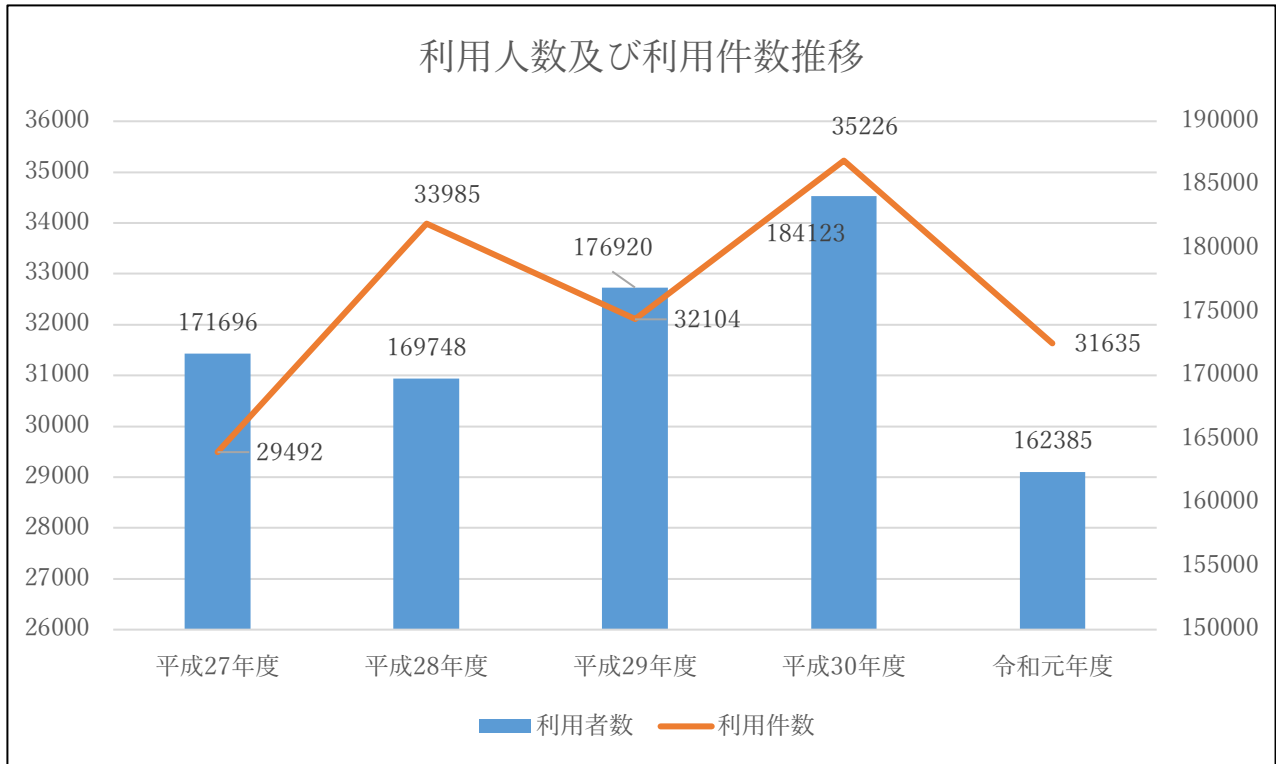
市内在住の60歳以上の方を対象に、教養、健康、趣味など日常生活での生きがいを見出すための教室を開催している。

・令和元年度 教室生 261 名

・活動内容 年間11回の講話を開催（オープンキャンパス〔長寿課と共同実施〕含む）
クラブ活動（健康体操クラブ・絵手紙クラブ・チャレンジクラブ）

公民館等の利用状況

1 中央公民館



(利用人数：実人数 利用件数：1時間1件)

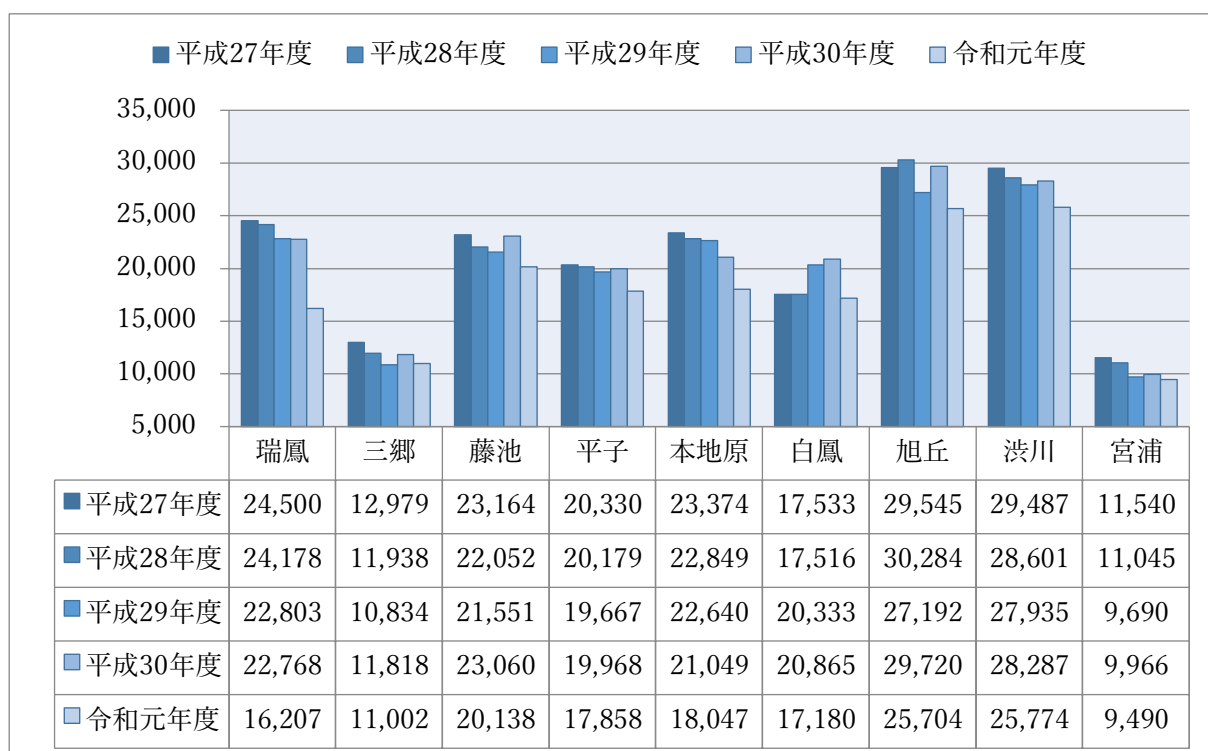
2 地区公民館等

(1) 利用件数の推移



(1時間1件)

(2) 利用者数の推移



(実人数)

自主活動団体の育成・援助

1 自主活動団体（サークル）の育成

公民館等を活動場所として、生涯学習を行っている自主活動団体を育成するため、その活動を支援している。

(令和2年4月現在 計58団体)

活 動 場 所	団体数	活 動 場 所	団体数
中 央 公 民 館	35	本 地 原 公 民 館	2
瑞 鳳 公 民 館	1	白 鳳 公 民 館	3
三 郷 公 民 館	3	旭 丘 公 民 館	5
藤 池 公 民 館	4	渋 川 公 民 館	2
平 子 公 民 館	2	宮 浦 会 館	1

2 活動の目標とその成果の発表

自主活動をしている団体を対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、さらには生涯学習の推進のための一翼を担っていただくことを目的に、次のような各種の作品展、発表会を開催し、活動の活性化を図っている。

(1) 公民館まつり

・開催期間 令和2年2月29日（土）～3月1日（日）を予定していたが新型コロナウイルス感染症に感染する恐れがあり中止した。

(2) 地区公民館等作品展示会

令和元年度

施設名	開催期間	参加団体	作品点数	来館者数
瑞鳳公民館	9/21（土）～22（日）	6	178	425
三郷公民館	10/19（土）～20（日）	11	182	171
渋川公民館		19	274	286
旭丘公民館		12	322	168
平子公民館		12	283	211
宮浦会館		9	209	250
藤池公民館	10/26（土）～27（日）	16	206	337
白鳳公民館		12	332	220
本地原公民館		14	146	322
合 計		111	2,132	2,390

(3) 中央公民館グループ作品展

中央公民館を拠点に活動している同好会等の団体を対象に、2団体ごと、1週間ずつのリレー形式で展示を行い、活動の活性化を図っている。

- ・開催期間 令和元年10月23日（水）～12月11日（水）
- ・参加団体 11団体（写真、絵画、書道、川柳等）
- ・作品数 187点
- ・開催場所 中央公民館展示ロビー

図書館

図書館は、生涯学習や余暇活動を支援する拠点施設として、来館者の資料要求やレファレンス等に応えるほか、読書通帳の配布やおはなし会等の読み聞かせを始めとする様々な自主事業を実施している。

愛知県図書館をはじめ、他市図書館等とも連携し、市民の知識力・読書欲を下支えしている。

また、地区公民館8館と新池交流館での図書館資料の予約取次・返却受付を行うなど、利便性の向上を目指している。

1 施設の概要

名 称	尾張旭市立図書館		
所 在 地	東大道町山の内2419番地5		
開 設 日	昭和56年4月8日		
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上2階建		
延床面積	1,393.25㎡		
<1階>		<2階>	
開架閲覧室	507.42㎡	参考室	131.73㎡（36席）
事務室	103.85㎡	視聴覚室	164.40㎡（99席）
閉架書庫	52.40㎡	おはなしのへや	57.55㎡
閉架書庫2	88.80㎡		

2 自主事業

図書館の利用推進を図るため、各種おはなし会、映画会、読書週間等事業、夏休み子ども一日司書を始めとする講座、読書感想文コンクールを始めとする学校との連携事業を行っている。

▲各種おはなし会

幼児・低学年児童を対象とした「おはなし会」や、赤ちゃん（6か月～2歳児）とその保護者を対象とした「あかちゃんからのおはなし会」、「大人のためのおはなし会」（写真）などを、ボランティアの協力を得て行い、本を親しむ機会を提供している。

▲夏休み子ども一日司書

夏休み期間中に、小学校高学年を対象に、図書館業務の体験を通して図書館や本に親しむ機会を設けている。

▲読書感想文コンクール

冬休み期間中に、小学生の読書習慣を形成するために開催し、優秀作品の展示や表彰を行い、読書の啓発を図っている。

3 健康都市尾張旭を推進する資料の収集

朝見武彦健康推進基金により、医学や食・運動などの健康に関する資料を収集し「朝見武彦文庫」を設置した。基金終了後も「朝見武彦文庫健康コーナー」として継承している。

5 図書館資料

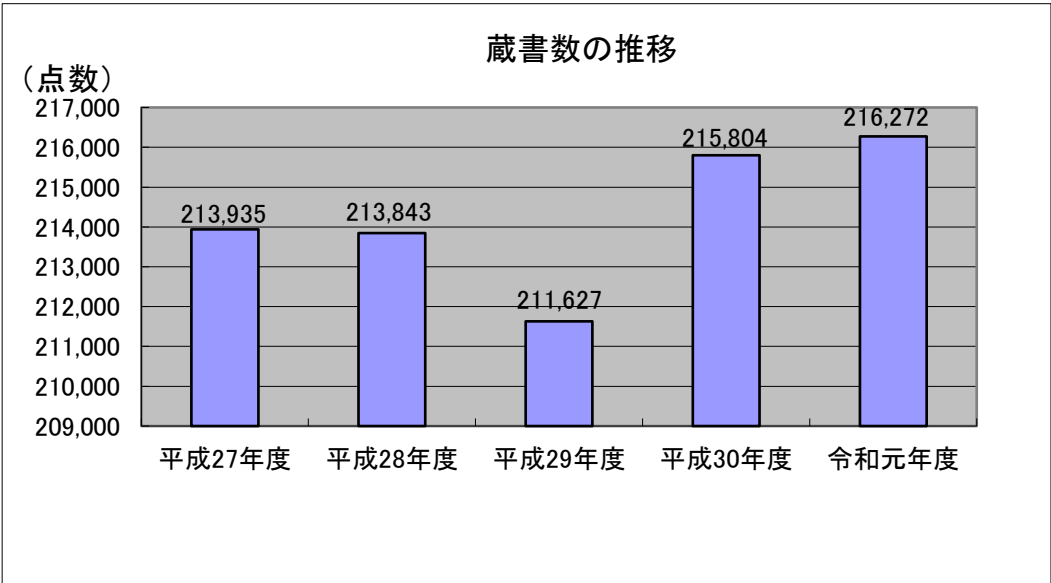
(1) 蔵書数

(単位：点)

種別	分類・内容		一 般 書	児 童 書	計
図書	0	総記	4,441	483	4,924
	1	哲 学	3,910	587	4,497
	2	歴 史	8,773	2,540	11,313
	3	社 会 科 学	16,928	3,076	20,004
	4	自 然 科 学	10,627	5,502	16,129
	5	技 術	9,401	1,942	11,343
	6	産 業	3,855	1,254	5,109
	7	芸 術	11,328	2,879	14,207
	8	言 語	1,491	643	2,134
	9	文 学	51,790	23,066	74,856
	A	郷 土 資 料	6,922	301	7,223
	L	大 活 字 本	913	118	1,031
	R	参 考 資 料	4,606	304	4,910
	E	絵 本	－	29,633	29,633
	マ	マ ン ガ	－	217	217
	小 計		134,985	72,545	207,530
	M	逐次刊行物	2,362	227	2,589
	K	紙 芝 居	19	1,416	1,435
	小 計		2,381	1,643	4,024
	中 計		137,366	74,188	211,554
視聴覚資料	T	カセット			87
	U	C D			3,382
	V	ビ デ オ			24
	W	D V D			1,225
	計				4,718
合 計					216,272

令和2年3月31日現在

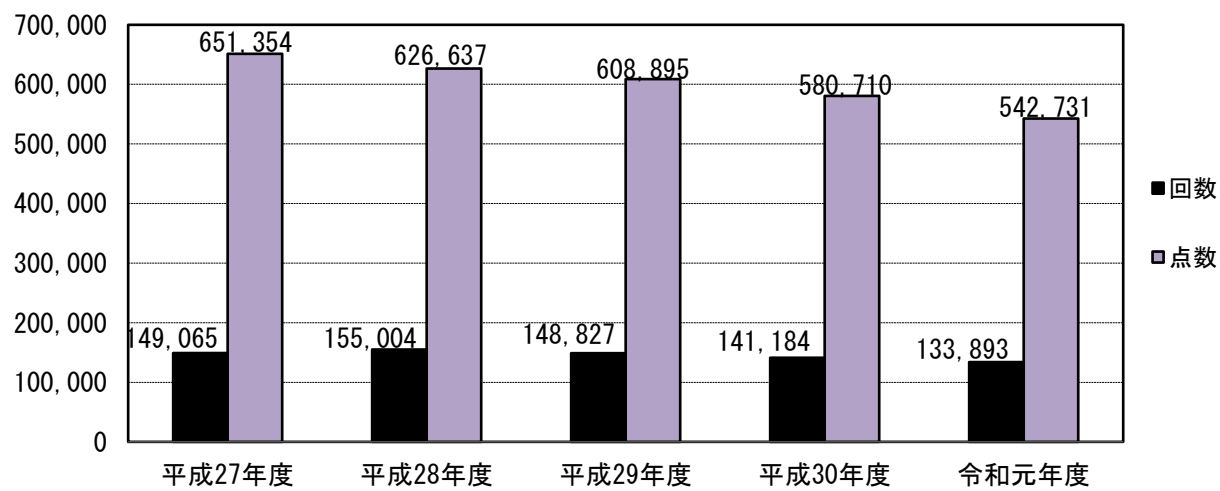
(2) 蔵書数の推移



6 利用状況

年度	登録者数			貸出利用回数 (回)			貸 出 点 数 (点)				
	個人 (人)	団体 (団体)	合 計	個人	団体	合計	一般書	児童書	雑誌	視聴覚資料	合計
平成27年度	22,098	63	22,161	148,527	538	149,065	341,452	260,519	21,186	28,197	651,354
平成28年度	24,625	73	24,698	154,515	489	155,004	329,840	250,752	21,697	24,348	626,637
平成29年度	26,860	82	26,942	148,377	450	148,827	318,249	245,965	23,243	21,438	608,895
平成30年度	16,157	84	16,241	140,628	556	141,184	304,370	233,537	22,586	20,217	580,710
令和元年度	18,733	93	18,826	133,306	587	133,893	287,361	215,309	20,690	19,371	542,731

※ 総貸出利用回数と総貸出点数の推移



社 会 体 育

市民スポーツの普及・振興

1 スポーツ教室

市民の健康維持、増進を図ることはもとより、市民スポーツの普及の場、市民相互のコミュニケーションの場として、各種のスポーツ教室を開催した。

(1) 指定管理者通期スポーツ教室（指定管理者：ハマダスポーツ企画）

事業内容	教室数	参加者数（人）
健康太極拳、いきいきウォーキング&筋トレ、心とからだにやさしいリズム体操、はじめてヨガ、南国フラダンス、爽快エクササイズ、疲労回復ヨガ、リンパエクササイズ、バランスボールで体幹運動、50歳からのやさしい運動、親子リズムミック、ベビーとふれあいマッサージ、親子で産後リフレッシュヨガ、ひよこクラブ親子あそび、キックボクシングテクニック&パワーエクササイズ、健康体操、フィットネスウォーキング、ミニバスケットボール、ジュニアショートテニス、なわとび教室、スイング&スロー、キッズ総合体育、キンダー総合体育、ジュニアバレーボール、卓球、ジュニア卓球、ソフトテニス、ジュニア硬式テニス、弓道、硬式テニス、ランニング、ジュニア陸上、ジュニアサッカー	42教室 (23種目)	3,682 (前年度比 573 人増)

(2) 指定管理者夏期スポーツ教室（指定管理者：ハマダスポーツ企画）

事業内容	教室数	参加者数（人）
親子リズムミック体操、ジュニア硬式テニス、ジュニアバレーボール	4教室 (3種目)	196 (前年度比 1 人増)

(3) 指定管理者水泳教室（指定管理者：ハマダスポーツ企画）

事業内容	教室数	参加者数（人）
水泳教室・着衣泳教室	5教室	104 (前年度比 14 人増)

2 ニュースポーツ・レクリエーションスポーツ等の普及

地域住民の健康増進及び相互親睦を目的に、各地域にて自主、自立したレクリエーションスポーツ活動等が展開できるよう地域スポーツの振興を図るとともに、市民だれもが気軽に楽しむことができるニュースポーツ・レクリエーションスポーツ、またラジオ体操・ウォーキングを普及するため、その体験会等を開催した。

事業内容	教室数	参加者数（人）
ニュースポーツ体験会	9	245 (前年度比 1,134 人減)
スポーツ推進委員派遣	18	2,068 (前年度比 216 人増)
ウォーキングイベント (あさピースマイルウォーキング、あさひ軽々楽々ウォーキング)	2	454 (前年度比 53 人減)

ラジオ体操講習会	1	20 (前年度比 33 人減)
シニア向けニュースポーツ体験会	2	77 (前年度比 18 人増)

3 市民体育大会

スポーツ技術力の向上と市民の健康増進を図るため、市民体育大会、市民ゴルフ大会並びに市民ジョギング大会を開催した。

- (1) 市民体育大会（令和元年 5 月 11 日～令和 2 年 1 月 25 日）
24 競技種目 参加者合計 4,882 人
- (2) 市民ゴルフ大会（令和元年 10 月 21 日）
参加者数 293 人
- (3) 市民ジョギング大会（令和 2 年 1 月 26 日）
参加者数 1,561 人

指導者・少年スポーツの育成

1 スポーツ指導者育成事業

各スポーツ団体の組織の充実及び資質の向上を図るため、スポーツ活動を推進する指導者を育成するための事業を実施した。

2 少年スポーツ育成事業

児童生徒等の健康の保持増進と体力の向上を図るため、体育・スポーツ活動を推進するための事業を実施した。

事業名	スポーツ団体数	事業数	参加者（人）
スポーツ指導者育成事業	18	123	3,487
少年スポーツ育成事業	10	24	3,253

スポーツ団体の育成

1 スポーツ活動推進事業

スポーツ団体の育成とスポーツ競技力の向上を図るため、スポーツ大会を実施する団体に対して市長杯等を交付した。

市長杯争奪スポーツ大会
14 競技種目 参加者合計 3,406 人

2 スポーツ大会選手派遣事業

競技力の向上等を図るため、市民体育大会等で優秀な成績を収めた選手及びチームを、愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル等のスポーツ競技大会へ派遣し、その費用の一部を助成した。

- (1) 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル
 - ▼ 東尾張地区大会
8 競技種目 参加者合計 91 人
 - ▼ 県大会

- 3 競技種目 参加者合計 24人
- (2) 愛知県青年体育大会
1 競技種目 参加者合計 28人
- (3) 愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会
令和元年12月7日(土) 愛・地球博記念公園
【結果】 市の部(38市) 25位
全体(54市町村) 30位
- (4) 全国大会出場者激励費交付
延べ79件(内訳:世界大会 3件、全国大会 76件)

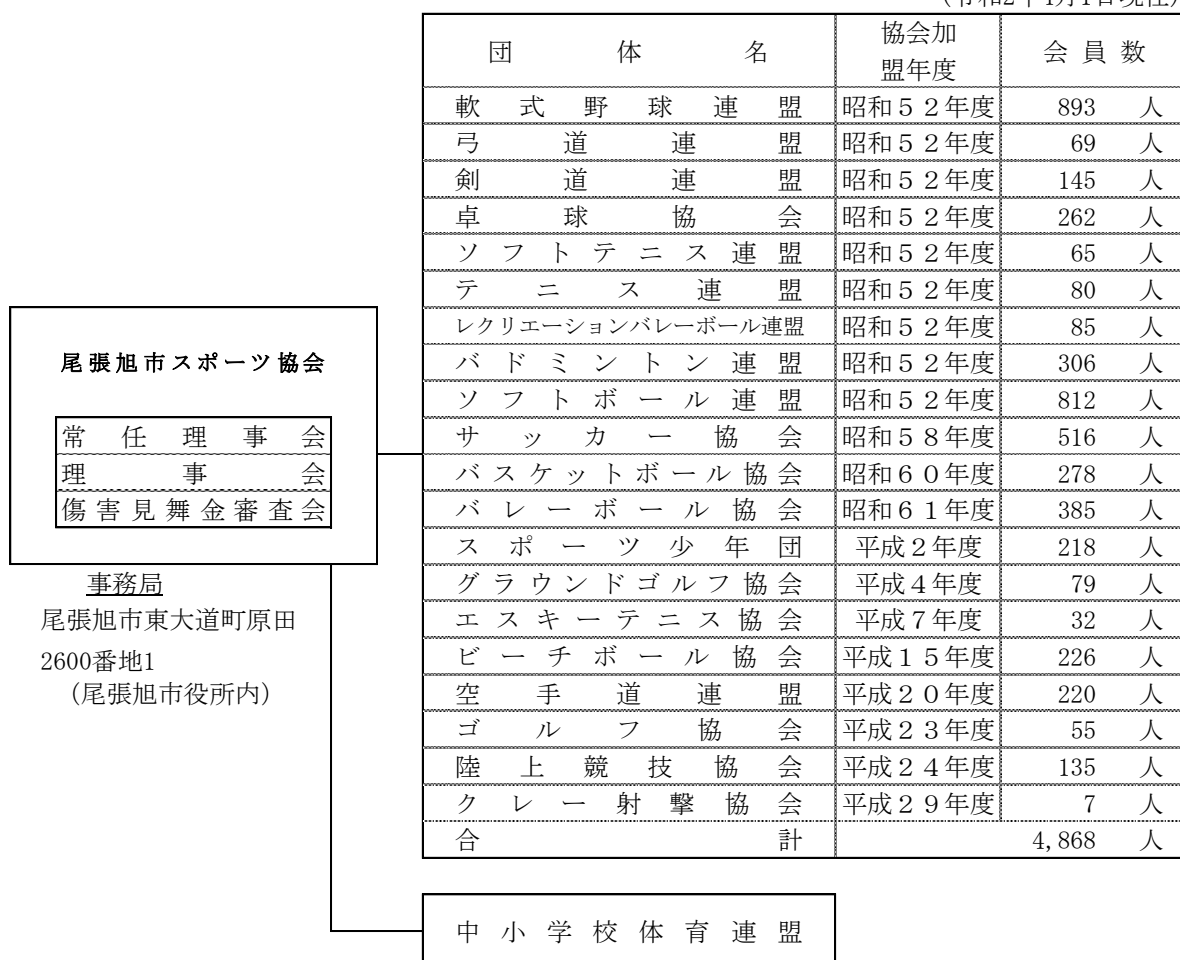
3 スポーツ団体への指導、援助

尾張旭市体育協会

スポーツ団体相互の連携と強化発展を主たる目的として設立されている尾張旭市体育協会に対し、自主的に運営活動ができるよう、また、充実した組織として発展ができるよう積極的に指導、援助を行った。

〔尾張旭市スポーツ協会組織図〕

(令和2年4月1日現在)



体育施設の整備充実

1 体育施設の整備充実

市民が快適にスポーツを楽しむことができるよう、体育施設の適切な管理、運営を行うとともに、利用者数の増加等に応えるため、施設の一層の整備、充実を図った。

- 令和元年度の主な整備改修工事
 - ・総合体育館アリーナ照明ＬＥＤ化等改修工事
 - ・城山野球場駐車場階段手すり設置工事
- 体育施設の備品購入
 - ・コースロープ及びワンタッチテント購入（市民プール）
 - ・器具庫購入（平子北グラウンド）
 - ・ライン引き購入（城山野球場）

2 学校体育施設開放事業

市民の体力向上等を目的に、学校行事に支障のない範囲で各小・中学校の体育施設を開放し、地域住民にスポーツ活動の場を提供した。

(1) 小学校運動場開放の利用状況

学 校 名	平 成 27 年 度		平 成 28 年 度		平 成 29 年 度		平 成 30 年 度		令 和 元 年 度	
	利用 日数	利 用 人 数	利用 日数	利 用 人 数	利用 日数	利 用 人 数	利用 日数	利 用 人 数	利用 日数	利 用 人 数
旭 小 学 校	105	2,844	104	2,953	102	2,856	105	2,940	98	2,744
東 栄 小 学 校	97	10,340	70	7,520	99	10,300	102	10,810	82	6,740
渋 川 小 学 校	110	8,790	108	8,230	106	10,600	111	10,000	98	8,200
本地原小学校	98	4,950	91	4,460	99	3,920	96	3,840	87	3,480
城 山 小 学 校	88	4,830	78	4,776	83	5,328	91	5,688	84	5,292
白 鳳 小 学 校	93	3,267	94	3,553	94	3,639	70	2,972	95	4,334
瑞 鳳 小 学 校	73	1,855	79	1,920	90	3,165	106	3,425	97	4,010
旭 丘 小 学 校	97	3,880	92	3,680	90	3,600	98	3,920	92	3,680
三 郷 小 学 校	96	3,840	88	3,520	86	1,590	86	1,282	30	686
合 計	857	44,596	804	40,612	849	44,998	865	44,877	763	39,166

（注１）利用人数は、延べ人数。

(2) 小学校体育館開放の利用状況

学 校 名	平 成 27 年 度		平 成 28 年 度		平 成 29 年 度		平 成 30 年 度		令 和 元 年 度	
	利用 日数	利 用 人 数	利用 日数	利 用 人 数	利用 日数	利 用 人 数	利用 日数	利 用 人 数	利用 日数	利 用 人 数
旭 小 学 校	257	4,199	266	4,298	261	4,307	280	4,732	272	4,884
東 栄 小 学 校	197	2,729	287	4,307	262	2,931	269	4,698	247	3,990
渋 川 小 学 校	108	1,736	111	1,739	188	3,478	209	5,844	251	5,271
本地原小学校	163	1,934	182	2,311	214	3,016	225	3,865	188	2,675
城 山 小 学 校	253	3,548	298	4,659	290	4,832	297	5,247	274	5,091
白 鳳 小 学 校	227	4,165	240	4,279	220	3,734	232	4,640	221	4,472
瑞 鳳 小 学 校	260	2,883	281	3,591	298	4,179	288	4,219	283	5,315
旭 丘 小 学 校	263	4,278	274	6,021	235	4,856	217	4,003	222	4,176
三 郷 小 学 校	257	5,448	309	6,377	309	6,639	308	7,020	297	7,326
合 計	1,985	30,920	2,248	37,582	2,277	37,972	2,325	44,268	2,255	43,200

（注１）利用人数は、延べ人数。

(3) 中学校運動場開放の利用状況

学 校 名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数
旭 中 学 校	48	1,587	70	1,986	73	2,156	63	2,056	75	2,263
東 中 学 校	25	760	69	2,485	68	2,996	61	2,384	105	3,620
西 中 学 校	156	6,443	135	6,819	129	6,036	140	7,231	129	6,372
合 計	229	8,790	274	11,290	270	11,188	264	11,671	309	12,255

(注1) 利用人数は、延べ人数。

(4) 中学校体育館開放の利用状況

学 校 名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数
旭 中 学 校	266	5,963	283	6,560	272	5,479	268	4,949	208	4,980
東 中 学 校	257	7,390	278	7,931	268	7,421	274	7,451	247	7,457
西 中 学 校	231	5,080	249	5,329	243	4,915	258	5,720	232	6,951
合 計	754	18,433	810	19,820	783	17,815	800	18,120	687	19,388

(注1) 利用人数は、延べ人数。

3 体育施設利用状況及び概要

(1) 体育施設利用状況

施 設 名 称			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総合体育館	アリーナ	利用人数(人)	63,748	57,835	57,952	57,603	53,129
	剣道場	利用人数(人)	33,684	32,947	33,296	32,830	29,485
	柔道場	利用人数(人)	22,023	21,884	23,215	21,838	20,015
	卓球室	利用人数(人)	39,461	39,886	41,074	39,668	36,401
	トレーニング室	利用人数(人)	33,691	33,688	35,493	35,962	32,185
	利 用 人 数 計		192,607	186,240	191,030	187,901	171,215
テニスコート	城山テニスコート	利用人数(人)	20,162	19,680	21,911	22,614	22,928
	旭ヶ丘テニスコート	利用人数(人)	19,119	19,114	18,827	19,873	20,393
	晴丘テニスコート	利用人数(人)	26,622	25,538	20,188	31,390	32,673
	井田テニスコート※	利用人数(人)	7,313	7,359	7,875	—	—
	井田第2テニスコート※	利用人数(人)	7,619	7,288	8,424	—	—
城 山 野 球 場		利用人数(人)	11,620	11,651	12,886	12,079	11,069
弓 道 場		利用人数(人)	3,018	2,682	3,605	4,051	4,267
旭ヶ丘運動広場		利用人数(人)	25,631	26,456	26,618	25,671	23,845
旭ヶ丘キャンプ場		利用人数(人)	1,795	2,232	2,104	2,365	2,074
晴丘運動広場		利用人数(人)	23,012	20,975	20,685	21,663	20,814
南 グ ラ ン ド		利用人数(人)	31,190	35,798	34,700	38,990	40,005
市民プール広場		利用人数(人)	9,237	8,660	8,979	8,454	7,155
平子北グラウンド		利用人数(人)	15,860	14,498	15,989	16,060	15,100
平子町仮設広場		利用人数(人)	14,562	8,490	7,822	7,932	11,978
利 用 人 数 総 合 計			409,367	396,661	401,643	399,043	383,516

※ 平成30年3月31日廃止

(2) 市民プール利用状況

施 設 名 称			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民プール	利 用 人 数 (人)	中学生以下	12,237	12,536	11,874	10,874	10,900
		高校生以上	7,330	7,743	6,906	7,101	6,603
		合 計	19,567	20,279	18,780	17,975	17,503

(3) 体育施設の概要

施 設 の 名 称 (開 設 年 月 日)	施 設 概 要
総 合 体 育 館 (昭 和 53 年 1 月 23 日)	所 在 地 東大道町原田 2 5 7 8 番地 TEL 5 4 - 2 7 3 3
	敷地面積 5, 0 7 4 m ² 延床面積 3, 8 9 1 m ²
	構 造 鉄筋コンクリート (一部鉄骨) 造 4 階建て (床・・・フローリング・ポリウレタン塗装)
	施設内容 ・アリーナ (1, 3 6 3 m ²) バレーボール・バスケットボール (2 面) バドミントン (6 面) 卓球 (1 8 台) ・武 道 場 (5 2 6 m ²) 剣道、柔道 (9 8 畳) ・トレーニング室 (1 2 5 m ²) トレーニング器具 1 式 ・卓球室 (3 0 8 m ²) 卓球 7 台
城 山 テ ニ ス コ ー ト (昭 和 52 年 11 月 27 日)	所 在 地 城山町長池下地内 TEL 5 4 - 3 9 7 1
	敷地面積 3, 0 5 9 m ²
	コートの種類 クレーコート (2, 7 3 9 m ²)
	夜間照明 1 8 基 (平均照度 2 1 4 LX)
	利用種目 テニス (4 面)
旭 ケ 丘 テ ニ ス コ ー ト (昭 和 57 年 8 月 1 日)	所 在 地 旭ヶ丘町濁池地内 TEL 5 4 - 1 1 6 6
	敷地面積 2, 0 1 4 m ²
	コートの種類 全天候型コート (2, 0 1 4 m ²)
	利用種目 テニス (3 面)
晴 丘 テ ニ ス コ ー ト (昭 和 62 年 12 月 1 日)	所 在 地 東本地ヶ原町二丁目地内 TEL 5 2 - 2 9 1 4
	敷地面積 6, 7 9 9 m ² (駐車場含)
	コートの種類 砂入り人工芝コート (3, 2 8 3 m ²)
	利用種目 テニス (5 面)
井 田 テ ニ ス コ ー ト (昭 和 62 年 12 月 1 日) ※平成30年3月31日廃止	所 在 地 井田町三丁目地内
	敷地面積 2, 3 0 9 m ²
	コートの種類 全天候型コート
	利用種目 テニス (2 面)
井 田 第 2 テ ニ ス コ ー ト (平 成 2 年 4 月 1 日) ※平成30年3月31日廃止	所 在 地 井田町四丁目地内
	敷地面積 2, 2 0 5 m ²
	コートの種類 全天候型コート
	利用種目 テニス (2 面)
城 山 野 球 場 (昭 和 49 年 10 月 10 日)	所 在 地 城山町長池下地内 TEL 5 4 - 3 9 7 1
	グラウンド面積 1 0, 7 3 4 m ² (両翼 9 0 m・センター 1 1 0 m)
	夜間照明 4 基 (照度 バッテリー間 8 0 0 LX、内野 5 0 0 LX、外野 3 0 0 LX)
	利用種目 軟式野球 (1 面)
弓 道 場 (昭 和 52 年 11 月 27 日)	所 在 地 城山町長池下地内 TEL 5 4 - 3 9 7 1
	敷地面積 6 9 7 m ²
	施設内容 和弓 (近的 2 8 m) 5 人立
	床 面 積 1 3 6 m ² (射場 1 0 7 m ² 、的場 2 9 m ²)
旭 ケ 丘 運 動 広 場 (昭 和 57 年 4 月 1 日)	所 在 地 旭ヶ丘町濁池地内 TEL 5 4 - 1 1 6 6
	敷地面積 2 1, 0 0 0 m ² (テニスコート、デイキャンプ場駐車場含)
	グラウンド面積 1 0, 0 0 0 m ²
	利用種目 少年野球 (1 面) ソフトボール (1 面) サッカー (1 面)

市 民 プ ー ル (昭和54年7月1日)	所 在 地	上の山町間口地内	Tel 5 3 - 0 6 0 6
	敷地面積	1 3, 6 1 2 m ²	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	・ 5 0 mプール (9 コース) 1, 0 0 0 m ² ・ 2 5 mプール (7 コース) 3 7 5 m ² ・ 徒渉用プール (変形) 3 4 1 m ²	
旭ヶ丘デイキャンプ場 (昭和57年8月1日)	所 在 地	旭ヶ丘町濁池地内	Tel 5 4 - 1 1 6 6
	施設内容	・ テントサイト 1, 1 0 8 m ² ・ 炊事場 木造平屋建 (床面積1 5 m ²)	
晴 丘 運 動 広 場 (昭和63年4月1日)	所 在 地	東本地ヶ原町二丁目地内	Tel 5 2 - 2 9 1 4
	敷地面積	1 9, 0 9 9 m ²	(テニスコート、駐車場含)
	グラウンド面積	1 0, 9 7 9 m ²	
	利用種目	少年野球 (1 面) ソフトボール (1 面) サッカー (1 面) 2 0 0 mトラック (1 面)	
南 グ ラ ン ド (平成3年4月1日)	所 在 地	南栄町旭ヶ丘地内	Tel 5 2 - 5 7 0 0
	敷地面積	2 5, 0 8 6 m ²	
	グラウンド面積	2 0, 0 0 0 m ²	
	夜間照明	6 基 (平均照度2 0 8 LX)	
平 子 北 グ ラ ン ド (昭和62年8月15日)	所 在 地	平子町北地内	
	グラウンド面積	8, 0 0 0 m ²	
	利用種目	軟式・硬式野球 (1 面) ソフトボール (1 面)	
平 子 町 仮 設 広 場 (平成27年4月1日)	所 在 地	平子町北地内	
	グラウンド面積	4, 8 0 0 m ²	
	利用種目	軟式野球・ソフトボール・サッカー	
西 中 学 校 体 育 施 設 開 放 (平成元年9月15日)	所 在 地	渋川町三丁目地内	Tel 5 1 - 1 3 7 5
	グラウンド面積	8, 6 7 7 m ²	
	夜間照明	6 基 (平均照度2 2 5 LX)	
	利用種目	軟式野球・ソフトボール・サッカー	
旭 中 学 校 体 育 施 設 開 放 (平成2年9月17日)	所 在 地	向町二丁目地内	Tel 5 1 - 2 7 1 5
	グラウンド面積	8, 4 1 5 m ²	
	夜間照明	6 基 (平均照度232LX)	
	利用種目	ソフトボール・サッカー	
東 中 学 校 体 育 施 設 開 放 (平成3年9月16日)	所 在 地	下井町前の上地内	Tel 5 1 - 2 2 4 5
	グラウンド面積	9, 0 0 2 m ²	
	夜間照明	6 基 (平均照度2 0 2 LX)	
	利用種目	軟式野球・ソフトボール・サッカー	

各種委員会委員

1 教育支援委員会委員（15人）

（任期：令和2年7月1日～令和3年6月30日）

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
大 澤 禎 一	城 山 小 学 校	校 長
龍 尾 和 子	三 郷 小 学 校	教 頭
井 上 千 景	東 栄 小 学 校	教 諭
鈴 木 倫 子	白 鳳 小 学 校	教 諭
上 田 真 也	旭 丘 小 学 校	教 諭
佐 伯 公	学 校 保 健 会	会 長
安 藤 郁 子	瀬 戸 旭 医 師 会	医 師
鈴 木 順 子	P T A 連 絡 協 議 会	保 護 者 代 表
小 林 紀 彦	愛知県立瀬戸つばき特別支援学校	学識経験者
松 川 博 茂	瀬 戸 市 立 瀬 戸 特 別 支 援 学 校	学識経験者
此 下 布 三 枝	こども課こどもの発達センター	教育委員会が必要と認める者
松 本 真 理 子	保 育 課	教育委員会が必要と認める者
和 田 智 子	家 庭 児 童 相 談 員	教育委員会が必要と認める者
加 藤 ひ と み	健 康 課	教育委員会が必要と認める者
村 山 麻 実	福 祉 課	教育委員会が必要と認める者

2 尾張旭市いじめ問題専門委員会（5人）

（任期：平成31年3月1日～令和3年2月28日）

氏 名	所 属 等	分 野
川 瀬 正 裕	金城学院大学教授	教 育
竹 内 千 賀 子	弁 護 士	法 律
安 藤 郁 子	瀬戸旭医師会所属医師	医 療
上 田 千 鶴	臨 床 心 理 士	心 理
星 原 淳 一	尾張旭市社会福祉協議会	福 祉

3 学校給食運営委員会委員（14人）

（任期：令和2年7月1日～令和3年6月30日）

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
宇理須 厚 雄	小 児 科 医 院	院 長
斎 場 勇 治	渋川小学校 P T A 連絡協議会	会 長
橋 本 昌 幸	旭 小 学 校 P T A 連絡協議会	会 長
三 宅 陽 子	三郷小学校 P T A 連絡協議会	副 会 長
三 浦 尚 子	旭 中 学 校 P T A 連絡協議会	副 会 長
山 田 優 子	東 中 学 校 P T A 連絡協議会	副 会 長
石 井 薫	西 中 学 校 P T A 連絡協議会	副 会 長
阿 部 友 里 子	旭丘小学校 P T A 連絡協議会	副 会 長
清 水 真 奈	東栄小学校 P T A 連絡協議会	副 会 長
栢 原 明 美	公 募 委 員	
松 本 浩 一	旭 中 学 校	校 長
伊 藤 彰 浩	渋 川 小 学 校	校 長
堀 江 志 衣	瑞 鳳 小 学 校	校 長
大 澤 楨 一	城 山 小 学 校	校 長

4 社会教育委員（10人）

（任期：令和元年6月1日～令和3年5月31日）

※の委員の任期：令和2年6月1日～令和3年5月31日

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
井 田 寿	三 郷 小 学 校	校 長
森 修	社 会 福 祉 協 議 会	会 長
山 本 正 治	文 化 協 会	副 会 長
吉 田 与 十 六	ス ポ ー ツ 協 会	会 長
若 杉 正 人	棒 の 手 保 存 会	会 長
栢 原 圭 子	地域婦人団体連絡協議会	会 長

中 道 晶 乃	子育てネットワーカー	
金 森 俊 輔	瀬 戸 旭 医 師 会	副 会 長
松 下 奈 美 子	名 古 屋 産 業 大 学	准 教 授
水 野 さ や か	公 募 委 員	

5 文化財保護審議会委員（4人）

（任期：令和2年2月1日～令和4年1月31日）

※の委員の任期：令和元年6月1日～令和3年5月31日

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
※齋 場 和 志	元 城 山 小 学 校	元 校 長
奥 野 絵 美	南 山 大 学	講 師
桐 原 千 文	元 名 古 屋 市 蓬 左 文 庫	文 庫 長
林 宏	元 愛 知 淑 徳 高 等 学 校	元 教 諭

6 公民館運営審議会委員（13人）

（任期：令和元年6月1日～令和3年5月31日）

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
改 田 世 保 子	文 化 協 会	監 事
中 道 由 美	子 ど も 会 連 絡 協 議 会	副 会 長
田 中 悦 子	地 域 婦 人 団 体 連 絡 協 議 会	顧 問
太 田 光 輝	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	渋 川 小 会 長
梅 村 千 代 美	地 域 活 動 連 絡 協 議 会	会 計
久 野 博 行	体 育 協 会	副 会 長
近 藤 日 出 子	公 民 館 自 主 活 動 サ ー ク ル （ パ ソ コ ン ）	
安 間 信 代	公 民 館 自 主 活 動 サ ー ク ル （ ギ タ ー ）	
佐 野 安 伸	公 民 館 自 主 活 動 サ ー ク ル （ 写 真 ）	
水 谷 葉 月	公 民 館 自 主 活 動 サ ー ク ル （ コ ー ラ ス ）	
瀬 瀬 陽 次	地 区 公 民 館 等 利 用 者 協 議 会	理 事 （ 城 山 連 合 自 治 ）
林 秀 和	公 募 委 員	
浅 野 憲 治	公 募 委 員	

7 図書館協議会委員（１０人）

（任期：令和元年６月１日～令和３年５月３１日）

※の委員の任期：令和元年７月１日～令和３年６月３０日

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
浅 野 謙 一	旭 小 学 校	校 長
井 上 千 景	東 栄 小 学 校	教 務
加 藤 り え	旭 野 高 等 学 校	教 諭
大 喜 多 広 子	地域婦人団体連絡協議会	会 長
水 野 啓 子	図書館おはなし会ボランティア	会 員
富 田 紀 子	子 ど も 会 連 絡 協 議 会	副 会 長
森 本 和 歌 子	小中学校PTA連絡協議会	校区母親代表
松 下 奈 美 子	名 古 屋 産 業 大 学	准 教 授
滝 浪 常 雄	名 古 屋 学 院 大 学	教 授
※松 本 由 美 子	公 募 委 員	

8 スポーツ推進委員（２０人）

（任期：令和２年４月１日～令和４年３月３１日）

氏 名	担当小学校区
秋 田 雅 史	三 郷
浅 見 俊 哉	瑞 鳳
足 立 文 明	東 栄
岩 橋 三 枝	旭
岡 本 啓 子	瑞 鳳
加 藤 省 吾	旭
鐘ヶ江 勝 晴	旭 丘
木 田 雅 子	三 郷
小 林 文 子	東 栄
清 水 美 香	本 地 原
鈴 木 一 平	本 地 原

寺尾博哉	※委員長のため担当校区なし
中尾高子	城山
長坂三喜代	白鳳
永野博	旭丘
濱地智英	城山
福島喜美子	※副委員長のため担当校区なし
二村誠	渋川
三浦雅子	白鳳
森下鐘一	渋川

学校医・学校薬剤師

(令和2年度)

学 校 名	区 分	氏 名	医 療 機 関 等 名
旭 小 学 校	内 科	佐 伯 公	佐 伯 小 児 科 医 院
	歯 科	柴 田 鋭 雄	柴 田 歯 科 医 院
	耳 鼻 科	加 藤 寿 弥	としや耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	大 岩 裕 泰	あさひ眼科クリニック
	薬 剤 師	森 純 子	あ い 薬 局
東 栄 小 学 校	内 科	飯 田 幸 雄	飯 田 ク リ ニ ッ ク
	歯 科	柴 田 敬 介	しばた歯科・矯正歯科
	耳 鼻 科	小 出 明 美	こ い で 耳 鼻 咽 喉 科
	眼 科	馬 嶋 紘 策	馬 嶋 眼 科 医 院
	薬 剤 師	臼 田 鋼 司	東 栄 薬 局
渋 川 小 学 校	内 科	畑 中 徹	畑 中 内 科 医 院
	歯 科	山 田 響 介	山 田 歯 科 医 院
	耳 鼻 科	加 藤 眞 二	加 藤 眞 二 ク リ ニ ッ ク
	眼 科	近 藤 三 博	近 藤 眼 科 ク リ ニ ッ ク
	薬 剤 師	本 田 道 子	本 田 薬 局
本 地 原 小 学 校	内 科	山 内 雅 博	あ さ ひ 内 科
	歯 科	林 雅 弘	は や し 歯 科
	耳 鼻 科	樋 田 和 彦	ヒ ダ 耳 鼻 咽 喉 科
	眼 科	振 本 常 弘	ほんじ眼科クリニック
	薬 剤 師	加 藤 久 美	緑 ケ 丘 薬 局
城 山 小 学 校	内 科	金 森 俊 輔	か な も り 小 児 科
	歯 科	月 村 雅 史	月 村 歯 科 ク リ ニ ッ ク
	耳 鼻 科	加 藤 寿 弥	としや耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	太 田 由 枝	太 田 眼 科 医 院
	薬 剤 師	浅 井 秀 之	浅 井 調 剤 薬 局
白 鳳 小 学 校	内 科	金 森 寛 幸	庄 南 内 科
	歯 科	柴 田 浩 二	し ろ ま え 歯 科
	耳 鼻 科	加 藤 寿 弥	としや耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	太 田 由 枝	太 田 眼 科 医 院
	薬 剤 師	柴 田 桂 子	し ろ ま え 歯 科

瑞鳳小学校	内 科	山 本 ゆかり	ひでき・ゆかりクリニック
	歯 科	増 井 丈 人	ま す い 歯 科
	耳 鼻 科	加 藤 眞 二	加 藤 眞 二 クリニック
	眼 科	振 本 常 弘	ほんじ眼科クリニック
	薬 剤 師	川 本 英 光	—
旭丘小学校	内 科	新 川 正 治	あ ら か わ 医 院
	歯 科	可 児 寿 英	か に 歯 科 医 院
	耳 鼻 科	加 藤 寿 弥	としや耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	馬 嶋 紘 策	馬 嶋 眼 科 医 院
	薬 剤 師	加賀爪 敬 子	ア サ ヒ 薬 局
三郷小学校	内 科	町 田 英 之	本 地 ヶ 原 クリニック
	歯 科	古 峪 秀 樹	コ ザ コ 歯 科 医 院
	耳 鼻 科	小 出 明 美	こ い で 耳 鼻 咽 喉 科
	眼 科	大 岩 裕 泰	あさひ眼科クリニック
	薬 剤 師	古 田 さち代	—
旭中学校	内 科	安 藤 郁 子	旭 労 災 病 院 小 児 科
	歯 科	加 藤 哲 男	ひ ら こ 歯 科
	耳 鼻 科	樋 田 和 彦	ヒ ダ 耳 鼻 咽 喉 科
	眼 科	太 田 由 枝	太 田 眼 科 医 院
	薬 剤 師	白 井 直 子	—
東中学校	内 科	中 嶋 博 久	な か じ ま クリニック
	歯 科	山 崎 雅 弘	どんぐり歯科診療所
	耳 鼻 科	小 出 明 美	こ い で 耳 鼻 咽 喉 科
	眼 科	大 岩 裕 泰	あさひ眼科クリニック
	薬 剤 師	丹 羽 松 弘	ぼ ぷ り 薬 局
西中学校	内 科	松 尾 功	松 尾 医 院
	歯 科	森 下 敏 光	ず い ほ う 歯 科
	耳 鼻 科	加 藤 眞 二	加 藤 眞 二 クリニック
	眼 科	近 藤 三 博	近 藤 眼 科 クリニック
	薬 剤 師	加 藤 富士子	—

教育関係施設一覧

	所在地	市外局番 尾張旭市 (0561)	
		電話	FAX
尾張旭市教育委員会 (尾張旭市役所)	尾張旭市東大道町原田2600-1	53-2111	52-2901
旭小学校	// 西の野町五丁目1	53-2035	52-2906
東栄小学校	// 東栄町三丁目5-1	53-2926	52-2911
渋川小学校	// 渋川町一丁目5-8	53-2044	52-2909
本地原小学校	// 南新町中畑252	53-2702	52-2913
城山小学校	// 城山町城山13-1	53-5020	52-2910
白鳳小学校	// 白鳳町一丁目12	53-5700	52-2912
瑞鳳小学校	// 大塚町二丁目10-1	052-773-2391	052-777-0174
旭丘小学校	// 大久手町上切戸117-1	54-3066	52-2907
三郷小学校	// 瀬戸川町一丁目122	54-8777	52-2908
旭中学校	// 向町二丁目4-2	53-2910	52-2903
東中学校	// 下井町前の上1602	54-6511	52-2905
西中学校	// 渋川町三丁目2-9	54-1191	52-2904
中央公民館	// 東大道町山の内2410-2	54-5300	52-5766
渋川公民館	// 渋川町一丁目6-1	53-8600	53-8861
瑞鳳公民館	// 大塚町二丁目10-2	052-773-1466	052-771-5969
三郷公民館	// 井田町三丁目163	54-4500	54-4500
藤池公民館	// 東栄町一丁目4-7	54-8722	52-0151
平子公民館	// 平子町中通219-2	54-9290	52-5393
本地原公民館	// 緑町緑ヶ丘100-10	54-9291	52-5644
白鳳公民館	// 白鳳町二丁目20	52-0690	52-0690
旭丘公民館	// 大久手町上切戸70	52-1624	52-5643
文化会館	// 東大道町山の内2410-11	54-8500	52-4222
図書館	// 東大道町山の内2419-5	54-5544	54-5543
どうだん亭	// 霞ヶ丘町南298		
総合体育館	// 東大道町原田2578	54-2733	52-2902
城山テニスコート	// 城山町長池下地内	54-3971	同 左
晴丘テニスコート	// 東本地ヶ原町二丁目112	52-2914	同 左
弓道場	// 城山町長池下地内	54-3971	//
城山野球場	// 城山町長池下地内	54-3971	//
市民プール	// 上の山町間口2485	53-0606	(7・8月のみ)
晴丘運動広場	// 東本地ヶ原町二丁目112	52-2914	同 左
旭ヶ丘運動広場	// 旭ヶ丘町濁池地内	54-1166	//
旭ヶ丘テニスコート	// 旭ヶ丘町濁池地内	54-1166	//
旭ヶ丘デイキャンプ場	// 旭ヶ丘町濁池地内	54-1166	//
南グラウンド	// 南栄町旭ヶ丘地内		
学校給食センター	// 旭前町新田洞5005-6	53-2971	53-8751
愛知県立旭野高校	// 東印場町三丁目4-1	53-5200	
名古屋産業大学	// 新居町山の田3255-5	55-5101	
名古屋経営短期大学	// 新居町山の田3255-5	54-9611	
東春暁幼稚園	// 旭前町四丁目6番地1	54-2423	
旭富士幼稚園	// 旭ヶ丘町森87	53-5262	
しらぎく幼稚園	// 北本地ヶ原町三丁目38	54-4790	
愛英本地幼稚園	// 南本地ヶ原町一丁目26	54-6311	